京城日報

九日夕刊

定價 本紙一部金三錢 一ヶ月金六十五錢
廣告料 一行金五十錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社

◎支那軍の背信を責めん

支那軍の包圍を受け居る豪軍は昨日の協定を無視し遼河渡河前攻撃せる支那軍の背信を責めつゝ機の熟するを俟つて必ず報復手段に出づべしと呼號しつゝあり（長春電報）

◎新河口事件事情判明

朝陽坡（新河口）事件の事情判明せるも外交問題となすべき價値なく此儘落着を告ぐべしと傳へらる（東京電報）

◎英軍氣旺盛獨軍沮喪

アムステルダム來電に曰く新聞通信員等の報道に依れば獨軍は兵員大砲等を盛んにフランデルスよりソンムへ向け轉送しつゝあり然れども英軍が雄心勃々たると獨軍が意氣頓に沮喪しつゝあると誠に面白き對照をなせり（倫敦電報）

◎ソンム戰線日々激戰

巴里來電に依れば、ソンムの戰鬪は四十哩の全線に亙り日々激烈となれり而して戰局はバボーム、ペロンヌ及ロアイエドーロ方面に向ひ擴大する傾向ありヒンデンブルグ將軍の獨軍戰線視察の結果敵の逆襲に少しく猛烈の度を加へたるが如きも是れ單に從來よりも重き犧牲を拂ふに過ぎざるのみ（倫敦電報）

◎羅軍のツトラカン撤退

獨軍は捕虜二萬を得たりと主張す

羅馬尼軍はブカレストの南ツトラカンより撤退せるが伯林公報は此戰に於て二萬の捕虜を得たりと主張す（紐育電報）

◎敵船押收

雅典來電に依れば聯合軍は希臘の港灣にありたる獨墺の船舶を押收し之を聯合國艦隊の碇泊し居るサラミス港に送れり（倫敦電報）

◎獨探降伏

獨探シエンク男爵は遂に逃亡の道無くして餘儀なく英國公使館に降伏せり他の獨探共も逮捕せられたり（倫敦電報）

◎遣露宮と露國

特派使節閑院宮殿下露國御差遣に付露國にては帝室の貴賓として特に長春以北に於て宮廷列車を運轉し宮殿下を奉迎すべき旨露國政府より其筋に通報ありたり（東京電報）

◉蔡鍔入院治療

病氣靜養の爲め十四日來朝すべき蔡鍔は長崎より上陸直ちに福岡大學病院に入院の筈なり（東京電報）

◉水利會案審査

過般發稿せる水利組合會案は內務部內に於て更に補遺修正中なりしが此程全部完了せるを以て九日午前九時より內務部長官室に高等官會議を開き宇佐美長官以下第一二課長事務官並は水利主任等會同再審査を爲せり

◉西域遺品出陳

景福宮內總督府博物館にては西域遺品の陳列を了へたるを以て十日より一般の觀覽を許すことゝなれり

◉露藏券の前況

鮮內豫約申込多し

朝鮮銀行本支店にて十一日より公募に著手し十五月締切るべき露國藏券は金融緩漫の現狀より見て確實有利なる投資物件なるより各銀行の注意を喚起し既に八日迄に朝鮮銀行に對し應募豫約の申込みをなし來れる京城及び地方銀行分の累計は五十五萬圓を超過し此種證券の公募には新記錄を作り募集開始期迄に尚ほ增加すべき模樣ありと云ふが本藏券の公募により朝鮮各銀行の有せる手許遊金は少からず消化せらるべく尚ほ個人金融業者中手許遊金ある者は借り受け望手少なきと銀行預金利子低く今回公募の藏券との間には一分內外の鞘差ある爲め應募希望者も多少生じ來る者の如し

◉軍需品露國行

八月中朝鮮皮革會社製露國行き長靴其他の軍需品の元山港積出し高は六十萬八千六百零五圓の多額に上れるが一月以降の累計は百五十萬圓を超ゆ前年より二十五萬圓の增加を示し居れり尚ほ本年中に百萬圓以上の仕向けある筈なりと

◉露軍需新引受

永登浦なる朝鮮皮革會社は曩に露國の軍需品たる軍靴並に彈藥盒の大注文を引受け就中軍靴は本月中を以て第二回分の注文品全部の納入を終り彈藥盒も亦來春を期し製作を終る筈なり然るに露國は日本に對し更に軍靴の大注文を爲さんとしたれども代金支拂につき交渉纏らず一時行惱の姿なりしが其後交渉の結果日本の製靴業者に於ても引受に決定し內地にありては四橋製靴所十八萬足、東洋製靴場十一萬五千足等何れも決定したる由なるが朝鮮皮革會社にありては佐渡技師長東上の結果第三回分として長靴二十萬足價額約百九十五萬圓の引受を決定し本年十月より製造に著手し來年三月末日迄に納入のことに契約調印し同氏は七日歸鮮したり同社の軍需品引受高は今回の分と合せ長靴七十六萬足價額六百八十萬圓彈藥盒三百二十萬個三百萬圓にして日本に於て引受けを爲たる總額の過半を占め居れり今回の引受商に對する原料は全部完備し居るのみならず明年三月の受渡終了後に於て更に十萬足の追加注文を引受けんとするの內約ありと云ふ

◉運賃引換開始

鐵道運送荷物代金引換開始の件は告示第二百十二號を以て十一日の官報に發布十月一日より施行の事となれり、同規程は全文十五條にて頗る簡明なり

◉浦鹽行小包便

浦鹽地貨物の爲め內地より浦鹽經由山歐路方面行き小包差立は遞信省にて客月來禁止し從つて朝鮮差立ても長春經由とする外なかりしが最近其の禁止を解かれしに付今後は何等支障なく浦鹽方面へ差立てらるべしと

◉地査委員總會

高等土地調査委員會總會は九日午後一時より總督府第一會議室に開催し山縣政務總監以下各部委員一同出席し査定上各部の統一に關する件に付き協議打合せありたり

◉軍司令官登廳

新駐箚軍司令官秋山好古氏は九日午前十時軍司令部に初登廳をなし會議室にて幕僚に向つて一場の著任挨拶をなせしが午後は馬車を驅つて山縣政務總監大島參謀長宇佐見內務長官其他官民有力代表方面を出迎答禮の爲め訪問せり

◉秋山將軍招宴

秋山駐箚軍司令官は十二日午後新任披露の爲め京龍主なる文武官民三百餘名を招待茶話會を開く由なるが會場は司令官官邸若くは朝鮮ホテルとなすか未だ決定し居らずと

◉講士實地見學

經學院秋季釋奠に參列せる各道講士は既記の如く九日午前九時より朝鮮銀行、京城郵便局、朝鮮ホテルを視察し午後は永登浦に皮革會社を參觀したり

◉李埈公展墓

李埈公殿下一行四名は九日南大門驛發列車にて展墓の爲め汶山に向へり

◉高山校長葬儀參列

仁川公立商業學校長高山經慶氏の葬儀は九日午後四時仁川明覺寺に於て執行するに付總督府よりは弓削學務課長以下學務課職員學校教師等多數參會したり

◉松永道長官歸任

既報の如く松永京畿道長官は九日午前八時五十分南大門著列車にて歸京出迎多數ありたり

◉水口課長出張

總督府關稅課長水口隆三氏は稅關事務取扱及び貿易狀況視察の爲め往復十六日間の豫定を以て九日朝出發大邱、釜山、馬山、鎭海、麗水、木浦、光州、全州、群山の各地へ出張せり

◉横井課長出張

横井鐵道局汽車課長は視察の爲め九日朝安東縣へ出張せり

◉朝鮮燐寸製造會社

仁川在住の重なる諸氏を發起人として京城、鎭南浦、大阪等の資本家加入して朝鮮燐寸製造株式會社を仁川に創立せんと計畫されつゝありし件は既報せる如くなるが今日は既に其の相談會終りて官廳の認可を待ち次第直ちに株を募集する筈なるが尚ほ社業漸次鞏固となりたる曉には鎭南浦、新義州迄にも分工場を設立するに至る可く漸次朝鮮內地に需要せらるゝ莫大なる輸移入を防止し延ては無限の需要地なる支那內地に商權を擴張せんとの考へなりと發起者の一人は語れり（仁川）

◉仁川八月金融

仁川に於ける八月中の金融狀況は多數鮮人等が舊暦盆に際し田舍より出仁する者多きに隨ひ多少の需用を補む可しと思はれしも內地米穀安の產地商の關係上小農等の持米を放たざるあり之が原因をなしたりと見へ地方よりの買物多からずして鮮人向き雜貨商或は其他商人も平凡裡に越月せり然れども一方日本人商家は當月に於ては可なり繁忙を極めしが中に米穀に關係せる商家は七月限、八月限の受渡しに供する爲め群山、木浦方面より廻米せし者あり之が現物は多く在庫品とされつゝあれど廻米に從ひ金融は自然活潑となり預金貸出に各銀行共七月末に比し多少增加せる成績を見せて越月せり而して鮮銀支店が取扱へる八月中の貸出及び取立に對比するに八月中に取立金は七萬二百九十四圓の超過となり居るを以て見るも當地市況一般を知るに足る可く同月中に金巾類或は綿織物の多數輸入されたるは米綿の作柄は近年になき不作なりとの報を聞き斯業者が見越輸入なせし爲めなる可くメリケン粉砂糖等の輸入されたるは格別異とするに足らざる可く支那製晒布、麻布の輸入は差したる變化なかりしと云ふ（仁川）

◉三島理事歸任

平南兩地方に出張中なりし三島鮮銀理事は八日夜歸任せり

◉武川盛次氏出發

鮮銀元山支店長より本店詰めとなり同行司事武川盛次氏は一身上の都合により辭職する事となり十日元山發の便船にて神戶に引揚ぐる由

◉南支店長送別會

平壤官民有志八十名は阿部鮮銀支店課長及び久保田南浦鮮銀支店長の爲め八日午後七時より大同館に於て送別會を開催せり席定まるや大橋商業會議所會頭一同を代表し送別の辭を述べ阿部氏及び久保田氏之れに對し謝辭を述べ宴に移れり尚當夜は大同館圈內に數個の模擬店を設くる等頗々の盛會なりき

◉教育家懇談會

京城內の各公私學校教育家は今回協道傳道のため渡鮮したる江原素六氏を始め各講師の入京を機會とし十日午後二時より朝鮮ホテルに於て茶話會を催し市內の主なる教育家及び其他の關係者十數名を招待し懇談會を催し席上江原素六氏の教育上に關する講演ある筈

◉露貨高騰

日滿貨物引換代金は從來朝鮮鐵道著の場合は露貨百留に付日貨六十五圓なりしも九月九日以降當分の內露貨百留に付日貨六十八圓六十錢と協定されたり

◉朝鮮彙報九月號

本號には十日より一般の縱覽に供す可き總督府博物館內西域發掘品の寫眞其の他數葉を插み記事には荒井長官の酒稅令の要旨小松翰長の朝鮮施政の奧義中村技師の全北農業所見坂出技師の印度視察談あり其の他行政財政及び金融產業交通土木學事外國事情地方通信統計等記事豐富にして紙數二百五十頁を算せり

元山

▲倉庫業と元山　既報元山成鏡農工銀行に於て計畫せる倉庫業開始に就き同行は既に度支部より認可の指令に接し居るを以て近々工事に著手さるべき筈なるが工事著手の上は最も急速に竣成せしむる模樣にて倉庫地の如きも元山里第三棧橋附近に決定したりといふ而して釜山倉庫分營も亦前記の場所附近に於て土地を買收し爾後の工事は著々豫定の進捗を見つゝあり

▲陸運送業組合　元山に於ては專ら荷主の便宜を圖る目的を以て今回新たに陸運送業組合の組織成れり同組合は本岡卯之吉氏を組合長に松原正雄氏を副組合長に會計を興津安吉氏と定められ六日午後六時元山停車場構內にて第一回組合會を開催し荷物保管の爲め組合より倉庫に夜番を付する事及び市內貨物配達賃を一定せしむる事等を決議し散會したる由なるが該組合成立の趣旨に對し鐵道當局は非常なる贊意を表し居れるもの如し

▲兩店長歡送迎會　今回鮮銀元山支店長の交迭に就き村地、兼谷、鳥居、葭濱、中島、大塚の六氏發起の下に元山官民百餘名は九日午後六時三十分大芳樓に新舊兩支店長を招待し盛大なる歡送迎會を催せり

鎭南浦

▲久原と山神祭　久原製錬所にては豫て漢頭山上に山神を奉祠するため社殿を建立中なるが近く落成と共に來る十二日祭禮を擧行する事となり當日は南浦重なる官民を招待し盛なる禮拜式を行ふ筈

▲宇都宮視察團　宇都宮商業會議所主催滿鮮視察團一行二十七名は來る廿四日一番列車にて來南築港三和花園久原製錬所等を視察の上朝日館に於て晝食をなし同日終列車にて平壤に引返す筈なりと

▲商工學校工事　鎭南浦商工學校は五島榮藏氏の請負の下に著々進捗しつゝあるが數日前より多數の人夫を使役し基礎工事中なるが同工事は近々終了すべしと

▲南浦と果實　昨今は果實の出盛期にて昨年と比較するに大なる差なく就中梨は豐作の結果稍々不民のみにて現今の卸相場としては芝栗衛甬一貫一圓二十錢並三十五錢苹果朝日上百個一圓八十錢上二圓五十錢梨パート一貫四十錢の見當なり

▲鮮銀招待會　南浦鮮銀出張所は今回支店と改稱し從來の所長は支店長となり同時に南浦支店長の津村甚之助氏は平壤支店長となり平壤の久保田氏は南浦詰となりたるより六日午後七時より主なる有志を朝日館に招待し披露宴を催せり

▲仁川商業學生來浦　仁川商業補習學校本科三年生は往復五日の豫定にて來る十二日頃平壤より來南久原及び築港三和花園を觀察の上新義州に向ふ筈なり

仁川

▲八月犯罪件數　客月中に於ける當警察署管內の犯罪件數及び檢擧件數は阿片煙器所持一檢擧一傷害犯人員三鮮人五檢擧日人三件鮮人四件犯人日人二鮮人二名賭博鮮人二件檢擧二犯人二名窃盜日人二十二件鮮人三十六件支那人一件檢擧日人三十八件支那人一件犯人數日人十四名鮮人三件檢擧日人一鮮人二橫領犯三件檢擧日人一鮮人二鮮人三名詐欺一件檢擧一件犯人一件等

▲書記長出務　旅行中なりし太田商業會議所書記長は八日より出務したり

▲檢査部長會議　仁川米穀檢查部長松元佐次郎氏は本月下旬京城に開催さるゝ筈の各道米穀檢查部長會議に當地より出席する筈同會議にては鮮米改良の件に就き種々打合せある可しと

釜山

▲宇都宮視察團　宇都宮商業會議所主催の滿鮮實業視察團一行廿五名は十七日朝連絡船にて釜山に上陸し市內各所視察の上一泊十八日午前六時五分發にて大邱に向ひ同日午後出發京城仁川平壤鎭南浦新義州より滿洲奉天大連旅順等の屈指の地を視察し再び引返し十月三日釜山を通過歸縣の筈なるが一行は正副會頭市會議長銀行家等なり

▲水路部長視察　釜屋水路部長海軍少將は名古屋海軍大尉を隨へ水路調査の爲め來鮮中七日午後來釜停車場ホテルに投宿九日壽山方面を視察せり

▲公立商業再築　本春二月中火災に罹りたる釜山公立商業學校は其後書民團跡を借受け生徒の授業を繼續なしつゝあるが今回地方費を以て前位置に再築する事に決したるが八日釜山府廳にて建築工事受負入札をなしたる結果七千六百三十圓を以て寶平町千歲定吉氏に落札せり其期間は九十日間にして校舍は五間に三十四間の瓦葺平家造一棟にして校長室、職員室、教室五間の外に玄關、降口宿直室、廊下、湯沸場、便所等なり

▲瓦電西部工事　朝鮮瓦電會社の釜山西部電鐵延長工事は其後著々進捗中なるが降雨の爲め兩三日を遲延し十日頃試運轉を行ひ來る十四五日頃には開通すべし

▲堀家支配人轉任　朝鮮興業會社釜山支店支配人堀家虎造氏は數年間釜山の經濟界の爲めに其功顯少なからざりしが氏は今回同社東京本社詰となり後任は本店副支配人長瀧武司氏なりと

大邱

▲浦項普通校設立　迎日郡浦項にては從來舊延日邑內に普通學校ありしもかくては浦項地方民の不便少なからざれば慶北道にては浦項に更に一校を新設すべく目下總督府へ申請中なりと

▲永川輕鐵引込運動　朝鮮輕鐵會社は目下大邱より永川邑外を經て慶州に至る輕鐵線路測量中なるが豫定線は河陽より二等道路に沿ひ竹防洞に至りて二等線を東に距るもの其一、又二等線に沿ふて永川河を渡るもの其二、更に琴湖より三等線を迎りて永川邑內に入るもの其三、右のうち第一線に決定さるゝ兆あるを見たる永川有志はかくては邑內の致命傷ともなる可き事なれば直ちに協議を開き去一日輕鐵會社に宛て永川邑內引込線に就き請願する所あり一方有志總代として林甚平氏をして七日道當局を訪ねしめ陳情する所ありたり

人事消息

▲水間泰明氏（咸鏡北道事務部長）　九日夜入京
▲シヤムリー氏夫妻　浦尾へ（投宿の筈）▲フロンク夫人▲ウユーク氏（以上米人）　九日朝入京朝鮮ホテルへ
▲押尾旭邦氏（朝鮮雜誌社長）　九日朝出發支那視察の途に上る月末歸京
▲菊地謙讓氏　八日午前內地より釜山著北行
▲久永三郎氏（仁川府尹）　九日朝同上
▲川村伯（上院議員）　七日午後平壤發安東縣へ
▲市川祭太郎氏（平壤三十九旅團長少將）　地方出張より八日歸任
▲三島太郎氏（鮮銀理事）　八日午後三時平壤發歸京
▲尹德榮氏（子爵）　九日朝汶山へ
▲尹澤榮氏（侯爵）　同上
▲朱錫縣氏（子爵）　同上
▲趙東潤氏（男爵）　同上
▲ローゼンボール氏（和蘭公使館附武官）　九日朝元山へ

□三八四句

砧打つ日本古樂の餘音哉　大塊
砧打白衣の裾水にまで　虎耳
南山の月に砧の音や冴ゆ　無佛
露深き砧に虫の聲白し　虎耳

物品購買公告
一大麥　四千貫
一大豆　貳千貫
此入札保證金各自入札金額ノ百分ノ五以上
[illegible]
大正五年九月九日　京城府

◎精米機ノ覇王
◎理想的ノ精米機
自働給米精米機 敷島八千代
各種精米家酒造家ニ適當ナル良機
自働給米精米機 敷島八千代
名譽金賞牌二十八回受領

登錄商標 敷島

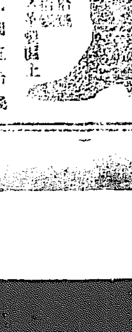
株式會社 今橋商會
大阪市西區江戶堀北通三丁目
廣島市猿猴橋町 今橋廣島出張所
佐賀市唐人町 今橋九州出張所

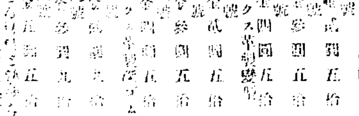
廣島名產 山まゆ織
髙橋光榮商店

鎭海巴町 青木古物店

信用ある 東京二三金の特賣

ボックス製 長靴
長サ一尺三寸 金四圓八拾錢





右の靴は精選の材料を以て熟練の技術を以て製作致し最も一般紳士用に好適なり
[illegible]

◉參議院傍觀記（三）

於北京 神崎憲一

南北兩派 麥藁帽の裏 笑ひ聲
待たれる大隣邦の明日

「例の露西亞政府から抗議を申込んだと云ふのが彼れなのですか」
「いや、其れは外蒙古からのです」

投票朗讀は斷ねず續けられてゐるのだ。耳を澄すと仲々面白いのである。北方派許りを同意して南方派に不同意なのや其れと全く正反對なのや、そうかと思ふと段（陸軍總長兼攝）と程（海軍總長）丈けを承認して

他を總て不同意な

のがある。
「激い奴だ、誰だらう彼麼事するのは？」
「乾度△△だよ。」と頻りに通がる人もゐる。そうかと思ふと
「…段祺瑞―不同意。」と云ふ聲もする。其麼時には傍聽席から砂塵りでも昇る樣に秘めた笑聲が一塊となつて出る。然し委員は其麼事には構はずに讀み續ける。そして折々不審でもあるのを後方の王議長に見せる。低聲調子でもの〻三四十分も經つたと思はれる頃、突然稍や大きな鋭い囁き聲がして
「程璧光が通つた！」
と叫んだ。附近の人は

一齊に其方を顧み

た。其の聲の主人は△△新聞記者××氏で一番此日怪しかつた程璧光許りに就いて採點してたのだ。其數が本日の出席議員數百九十八の過半數に達したのだ。
「さうか、そりや豪い。」
「先づ〱御安心だナ。」
など〻小さな聲で批評する人がある。投票朗讀は午後四時に終つた。恰度午後三時に始められたのだから全一時間經つた譯である。聽て速記者席から其採點表を議長に提出する。王議長は

立つて明瞭な聲で

ペラ〱と何事かを語つて。終つたから今から發表する、と云ふ意味だつた。先づ無效が六票あつた事を告げ、其無效の理由たる誤字を一々讀み上げた。其詳しい内容を悲しい哉言葉の通じない爲め聞き得なかつたが多分程璧光の璧が壁になつたとか范源濂の濂の字のサンズイがぬけたとか云ふ位だらうと思つた。婦人席からドツと笑ひ聲が立つたりする程の間誤ひなどもあつた。夫れが終ると愈々投票の結果を讀み上げた。ペラ〱と一度に讀み流した。

頻りに聞き耳立て

てゐた日本の記者團の人々は早速其れを記載にかゝつた。然し皆判つた人は一人も無かつた。けれども兎に角國務員の總ては承認されたのだ。

――と隣りにゐた一人はノートを忘れたと見えて麥藁帽子の裏の布地に記してゐた。が其隣りに坐つてた支那人の新聞記者を捉へて頻りに聞き正してゐる。其れを見ると日本の新聞記者は一齊に其方に向つた。流石支那人だから總てを記してゐたのだ其結果は左の通りである。（僕の數字は支那人の又聞きなのだ）

參考の爲め衆議院

の點數も添附して對照するに便ならしめる。

參議院		衆議院
一九八	總數	四五五
一八四	唐紹儀（外務）	三七六
一七四	陳錦濤（財務）	三九六
一三九	程璧光（海軍）	二七七
一七五	張耀曾（司法）	三五七
一五八	孫洪伊（内務）	三四五
一八四	范源濂（教育）	四三九
一四五	許世英（交通）	二八四
一三七	谷鍾秀（農商）	二七七
一八六	段祺瑞（陸軍）	四三二

是れによつて見れば初め心配してゐた程璧光なぞより却つて谷鍾秀の方が得點は少ない。要するに兩院を通じて程、谷兩總長が一番睥まれてゐる譯だ、其次には交通部の許總長だ。谷鍾秀は國民黨の領袖、程璧光、許世英は段總理の一味たり片腕である。其れも是れも

先づ〱無事承認

と決定した。雨か風かの空も霽れ渡つて五彩旗の色は愈々鮮やかになつた。今後の問題は此團結がいつ迄續くか如何なる働きを爲すか爲し得るかである。唐紹儀の就任にもまだ全く疑義去り得ないものがある。段總理の腕こそは見物であり更に南北消長の形勢も期待される。待たれるは大隣邦の明日だ――など獨り瞑想してあると此決定によつて傍聽者は皆ドヤ〱と外に出かけた。僕も出たまだ何かあるのではないかしらと思ひ乍ら外に出ると、反對の方から何處かで見た事のある樣な顏の人が

折鞄を抱へて出て

來た。水色の支那服を著てる。
「ヤア」
「ヤア」
と記者團と挨拶してる。聞けば前駐日公使陸宗輿氏だと云ふ。矢ッ張り今日の參議院は是れでおしまひだと
（九月五日午前二時記）

◉二千餘點の古代藝術品

久原氏寄贈―總督府博物館に陳列

今春兵庫縣武庫郡本山村久原房之助氏より總督府博物館に寄贈したる二樂莊所藏の西域古代藝術品等の發掘物二千餘點は其後總督府博物館に廻送せられ馬場囑托指揮の下に景福宮内慶會樓前修政殿内に陳列中なりし處愈々全部の陳列も終りたれば愈々十日午前より一般公衆に觀覽せしめる事となりたり

修政殿内に陳列された西域發掘物は多く人の知れる如く前西本願寺法主大谷光瑞伯が先年印度ネパール地方より

◆世界の秘密國

たる西藏に入り多くの佛蹟古佛寺の跡を尋ねた多大の勞苦と經費と長き年月を費して發掘し得たる貴重品なり 西藏は東漸の要衝に當り支那本部と印度との通路にして佛教支那本部よりも約一世紀も早く佛教隆盛を極め其の遺跡には未だ支那化せざる佛教の遺物頗る多く世界の至寶として珍重せらるべきもの頗る多く歐洲の歴史家哲學者等は既に早く玆に著目し英人スタイン佛人ペリオ獨人グリユンエーデル及びコツク露人オルデンブルヒ及びコツロフ等は非常の

◆辛苦を嘗めて

其の遺物を蒐集したる事あり大谷光瑞伯の發掘したる地方は殆ど新疆甘肅二省の全部に亘りて渉獵し蒐集區域頗る廣く又蒐集されたる遺物も其の範圍頗る廣汎にして壁畫、佛像、神像、墓誌、石碑、祭器、武器、繪畫、塑像、刀劍、古錢、鐵釜、古鏡、銅印、瓶、甕、坩、革嚢、人形、絲織物類、帽子、紙踏、木屐、馬具、農具其の他木製品及び土製品、石製品、金屬、骨角品及び木乃伊等二千餘點に及び參考資料として價値甚大なるものなり、宮殿の入口に陳列されたる壁畫は何れも巧みに修理を施されて筆力雄渾なる

吐魯番萬集壁畫の神像 ―總督府博物館陳列―

◆唐時代の佛像

神像天女花鳥風俗畫等色彩鮮かに生動し壁畫中には裸體の男女が大蛇を退治して居るものや其他サンスクリツトの詩の讃式のもの等珍らしきもの多く又塑造の佛像中には相格圓滿崇麗なるもの頗る多し塑造佛體は佛教傳來の當初日本へも傳はりしが今は殆ど上代の塑像物を見る事難けれど此の發掘物中には最も多くの塑造佛又は神像等を有せり此の外木彫石刻又は繪畫の佛像亦極めて多く何れも相格崇嚴を極めたり此の地方の佛像は單に印度古代の

◆崇嚴なる佛相

を傳ふるのみならず早く既に歴山大王の遠征より希臘羅馬の繪畫彫刻影響を受け殊に歴山王の駐蹕時代に實際に西洋婦人の相格を目睹したるものゝ如く女神像等には最も多くの西洋婦人の骨格容貌を備へたるもの甚だ多し墓誌中には六朝の書を刻したるものあり單に金石學上の好參考資料たるのみならず好書家の讃美措く能はざる處のものなり此の外男女合體の造化神像あり

◆墓中より發掘

したるものなりと云ふ半身蛇形にして相纏絡せる此の他女の木乃伊一體、蛇、獸類の木乃伊等珍らしきもの頗る多し

◉五十九歳で醫術開業試驗

既電の如く醫術開業試驗は九月八日の施行を最後として永久に廢止さるゝことゝ爲りたるが試驗希望者は總數三百三十六名にして受驗者の年齡は四十歳前後の者最も多く最年長者は安政六年生（五九）の中山可内（東京）同根來源次郎（愛媛）の兩氏なり根來氏は曰く「私は十四歳の時初めて醫學に志し明治三十六年大阪にて前期試驗に合格し夫れより醫院の書生と爲り本年六月漸く後期學術試驗に合格せり」因に氏は郷里に六人の小供あり次男には二歳の孫ありと（東京特電）

◉二千餘圓強奪

四人短銃強盜

忠南天安郡城山面元稷山邑内の金世濟（五）方に本月八日午前一時頃四名の支那人強盜押入り拳銃及び七首を示し金世濟を脅迫し現金二千二百八十餘圓を強奪して逃走せり急報に接し笠場憲兵出張所にては天安憲兵分隊に電話を以て報告したれば池上分隊長は憲兵全員を招集し隊長以下十五名現場に駆付非常線を張り目下大捜査中尚ほ強盜は逃走の際一名の賊は頸部に銃創を負ひて天安郡笠場面都下里の山中にて卽死し居るを發見し」の三名は京畿道方面に逃走したる形跡あり死亡したる賊は追跡されたる内地人の銃丸に觸れたりとも言ひ或は同僚の賊の爲め誤つて射殺されたりとも言ひ目下其行衛を嚴探中

◉親熊を射止む

仔熊遂に逃げ去る

平北江界憲兵分隊院坪里憲兵派遣所の東方蕎麥畑の中に八月十九日午後六時頃一頭の大熊現はれ居るを認め同所勝岡上等兵は補助員二名と共に追跡したる際傍らの草叢の中にて親熊一頭が仔熊二頭を連れ居るを發見したるより三名にて六發の實彈を發射したるに二發は親熊に命中して卽死せしめたるも仔熊は遂に逃亡したりと件の熊は身長五尺位體量約五十貫ありたりと

◉忙しい

高陽警察署の引繼ぎ
十日記念の撮影 分袂の清宴

本月十日から高陽警察署が廢止になつたことは既報したが九日午前中同署に於て京城分隊の方に事務の引繼ぎを終了した、京城分隊からは高野曹長が下士及び上等兵數名と共に出張し京畿道警務部からは警務係主任の眞野警部も見にてゐた、事務室は机上に

▼諸帳簿類

が堆く山積され四邊は帳簿箱から諸器具迄キチンと整頓されてゐる署員は何れも今日迄の整理や雜務を終へて今や安息の姿である安藤署長は過般署中休暇で郷里鹿兒島に歸省し今尙病氣靜養中であるから田口警部が署長代理として一般事務の引繼ぎや署員

▼數十名の

身の振方に就ては頗る多忙を極めたやうである高陽署は元來本署の所在地が鍾路警察署管内にあり單に京城府外なる高陽郡の郡部を管轄してゐたもので警察の位置所管を變更され整理の結果廢止さるべき運命になつたのである署員ば夫れ〲新たに任命された他の警察署に落著くべく既に九日午前中辭令の

▼交付された、

新署員中約三分の一は鍾路警察署に配屬せられ其他一般京畿道管内本町、永登浦、開城、仁川、安城、振威、昌德宮等の各警察署、警務部、總監部等に分屬さるゝやうになつた十日は舊署員全部本署に參集して告別式を舉行して紀念の撮影をなし同夜分袂の清宴を催し盡きせぬ名殘りを歡談の裡に末永く記憶して散會すべしといふことである

帳簿の引繼に忙しき高陽署（九日午前）

◉千五百餘名で大卷狩り

忠北永同郡にては近來猛獸の被害あり人畜の殺傷さるゝもの續出するより永同警察署にては八月二十六日午前六時より同日午後六時迄大舉して猛獸の大卷狩りをなしたり永同署より警部巡査等數名出張して指揮に當り同郡龍山面間里外十七里の農民全部の總員一千五百八十一人を以て三隊に組織し豹の巢窟と見るべき同面金嶺山、天冠山を包圍攻擊したるも目的の豹は一頭も獲物なく穴熊一頭兎其他若干ありたりと

◉大豹を生擒る

江原道蔚珍郡西面下陵里朴進五方にては八月二十五日同里虎岩山に放牧中の牝牛一頭猛獸に拉去され喰ひ殘されたる骨片あるを發見し届出でに依り三斤憲兵派遣所より憲兵出張して猛獸の行衛を捜索したるも不明なりしより其の通路と覺しき所に罠を掛け置きしに果して翌日身長五尺位の大豹一頭懸かりゐたりと

◉冥土から呼び戻さる

京畿道廣州郡都尺面鐵牛里鄭姓女（三九）は豫て本夫の眼を偷み同里の林鐵祿（六）と私通し居れる内林學順の母許川禮（六）が此事を發見して度々兩名に訓戒する所ありしも更に背せず且つ鄭姓女は寧ろ許川禮を殺害して世間晴れて夫婦にならんと八月二十六日午後三時頃許川禮を荒繩にて絞殺したる上梁に吊して恰かも自分にて縊死したる如く裝ひ置きたるを急報に接し廣州憲兵分遣所の憲兵が出張し手當を加へて幸くも蘇生せしめ全く鄭姓女の絞殺したるものと判明し目下同女を引致して嚴重取調中

◉平壤の孔子祭

七日午前八時より平壤孔子廟に於て釋奠を執行したるが當日は山下府書記府尹代理として參拜し府員以下廿五名の拜禮ありたり

◉鮮人驛夫

金指環を盗む

八日午前入港の連絡船新羅丸の二等客京城在住田尻生五の妻しづ子が京城行急行列車に乘込む際釜山棧橋の洗面場にてダイヤ入及び純金の指環三個三百圓を左の手よりぬき傍らの石の上に置き發車の汽笛に氣を取られて其儘列車に飛び込み釜山鎭に至りふと左の手に氣がつき大騷ぎを始め直に釜山の驛に電話を掛け驛員から赤帽に至る迄總出にて搜索の結果釜山驛夫の鮮人朱徐長が盜み居りし事判明し警察に引渡したりと

◉又々大邱に歐羅巴虎列拉

大邱本町一丁目一四紙商安賀孝太郎妻ため（三）は六日夕刻より俄然激烈なる吐瀉をなし時節柄忽ち非常警戒をなし一方慈惠病院にては糞便の檢查を行ひしが第一回には格別虎菌を發見するに至らざれども尙ほ菌培養檢査の必要あり培養中なりしに患者は不幸にも遂に七日午後四時半死亡するに至れり發病原因に就き未だ詳知する能はざれども患者の自白によれば六日晝食に香川縣より送り來し海老を食せしのみとの事なれば同時に海老の菌檢査をなし菌培養の結果七日午後十二時無菌性と判明したれども症性全く歐羅巴虎列拉にて官憲は警戒しつゝあり（大邱支局）

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△謎『借金とかけて』
○明治九年生の今年と解く、心は四十九（始終苦）になる（一等） 京城竹添町 坂田冷水
△コレラの蔓延と解く、心は油斷をすれば多くなるばかり 京城 日野山人
△寺坂吉右衛門と解く、心はお足（お足輕）借る 鍾路 井上邦水
△天井の煤と解く、心は拂ふまで氣にかゝる 永同 松田生
△討論會の敗者と解く、心は理（利）に頭が上らぬ 釜上 あきら
課題及び募集規定は欄外にあり

◉公州秋期釋奠

九日午後九時三十分全南公州文廟に於て秋期釋奠を舉行したるが當日は非常の豪雨なりしに拘はらず小原道長官は廳員を随へ參拜したるを以て兩班儒生に好感を與へたるものゝ如し

◉釜山の遊興客調べ 釜山綠町遊廓は現在三十九軒あるが八月中の遊興客四、九五二名内地人四八六九名遊興費［二九四九圓、鮮人七八名、一八一圓五〇、外人一名、三九圓にして其

港新羅丸一二等客 一等（六名）山田寅吉、野村吉治、江原粂六、外人二人 二等（三十六名）川［illegible］

八日午後釜山入港對馬丸一二等客（一等六名）松永武吉、久水三郎、同わか、外人三名（二等十六名）西澤潤之助、平田堅利、同品司、森竹藏、同しか子、同君代、同正義、河村

北御門はつ、長田きわ、永江きよし、須田とめ、相畑せつ、同ひさ、早島あい、同ひさ、宮川なみ木村すみ、宮田、同くつ、李啓玉、三宅三郎、近藤すゝの、小田藤太郎、宮崎哲夫、立花運平、西條兵衛、李子廣、方志娘、浦井佐吉、東聖起

暴風警戒（九月九日午前九時三十分發）警文 風雨強かる可し 低氣壓位置 黄海 低氣壓下 進行

讀者文藝課題及び募集規程
課題 正謎題「團子」 締切 九日 發表 十日
［illegible］ 十一日 同 十二日

募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の下に住所氏名明記の事▲賞品は一［illegible］後▲種類の異る毎に用紙を更よ［illegible］

天氣 雨後曇り ▲九月十日（十日午後六時まで）

西暦 陰暦 日出 六時 五十分 日沒 六時 十分 仁川 午前 午後 ［illegible］

演藝案內

◎御存じですか？ こんな爲めになる講義錄が出ました 目下の生活に慊たらぬ者は速に來れ 最新家庭經濟講習錄 實踐速成二ケ月半 目下大割引僅壹圓廿錢 東京下谷西町 帝國家政通信學校 ◎安價生活の福音！◎見本無代呈送

日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 有樂館
九月八日より特別大寫眞提供 ○滑稽ルナパーク ○實寫二九一四年ダービーの大競馬の實況 ○日活會社大傑作 舊劇新派大悲劇「櫻子」全四巻 △危うきは人の運命、蛇は花の色…… ◎大冒險大活劇「暗號書」全三巻 ［illegible］

御成町 電話一一九一 御成座
革新派中村榮一行 第八十三回替り藝題 大阪朝日新聞連載小說 一番目 勝鬨 全九場 二番目 喜劇ビックリ袋 全四場 良太郎（中村）［illegible］

明治町 電話二六〇 浪花館
大阪女義太夫大一座來る 九月九日より毎日午後六時開演 初日語物▲御祝儀賓の入船（入登）▲戀娘昔八丈鈴ケ森の段（林廣）▲忠臣藏三段目落合の段（廣久）▲日吉丸三段目小牧山城中の段（住子）▲白石噺七ツ目新吉原揚屋の段（林玉）▲忠臣藏六ツ目勘平腹切の段（は丹）▲朝顏日記四段目宿屋の段（久子）▲菅原四段目寺子屋の段（廣治）▲艶姿女舞衣三勝半七酒屋の段（林之助）三味線 竹東馬鶴 豊

天然色活動寫眞株式會社特約 Mカシー商會朝鮮一手代理店 電話二八五二（階上）二六三七（階下） 黄金館
九月七日より特別大寫眞提供 ○實寫各國軍艦 ○泰西大活劇「快眼」最長尺 ○教訓活劇孝の德 最長尺 兒島旭洲著 ▲世界的名篇▲大冒險大活劇第九「名金」第十七編 第十八編 ▲連鎖劇「佐倉義民傳」全五巻 ［illegible］

大正館の 戰禍 は是迄ありふれたる探偵冒險物などの俗惡的寫眞にあらず…… 憂國の士は見よ決して對岸の火災視すべきに非らず 國家多事の秋愛國の人は來れ！
連日滿員御禮 米國政府軍備擴張派機關大寫眞 賜台覽 戸田式部長官命名

日本活動株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館
九月六日よりお待ち兼ねの臨時特別大寫眞 ○實寫武裝せる歐洲 ○滑稽トン君の［illegible］ △舊劇大塚信乃 全三巻 ▲尾上松之助一派出演 ［illegible］ ▲戸田式部長官命名「戰禍」全五巻 ［illegible］

特約店 川西商店 ソース 於國產博覽會名譽銅牌受領 國產を重せらるゝ御方は御愛用の程

長男仁平儀 豫而病氣の處養生不相叶八日午前十時死去候に付此段辱知諸君に謹告仕候也 九月九日 在平澤 岡本亥之吉 友人總代 中野有光 國友尚謙

旭町一丁目（京城府廳前） 株式會社 京城葬儀社 二川屋事 中河原重吉 井上芳太郎 靈柩馬車設備あり 電話一五六七番 電話九五七番

葬儀請負 供花御寄贈品一式 京城本町二丁目（壽館横） 朝鮮葬儀社 電話五六二番

神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切 京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番

葬具一式 造花、生花、花環、寄贈品、裝飾品、其他供物一切 親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候 京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番

連絡船上陸客 八日午前入

婦人にも大切な 柔道の心得

△女學校では型が流行 △植民地では殊に必要

◇近頃內地では婦人方に柔道の稽古が盛んとなつて來ました、これは體育の上にも婦人の防衞上にも極めてよろしい傾向でわが日本の婦人としては是非共柔道の型位ゐは心得て居て貰ひたいと思ひます

◇京城の婦人では以前李王職の末松事務官夫人が一年ばかり型を勉强されましたが昨今內地の女學校あたりでも多くは此の型を敎へてゐるやうです

◇近來はまた露西亞領事館內の內地婦人戶田乃枝子さんが稽古に參られますが此の人は獨り型のみならず亂取りの稽古もやつて居ます

◇婦人に柔道の心得があれば萬一醉漢や亂暴者に出會ても充分な防備が能きます上に少々でも型を心得て居れば充分相手の度膽を拔いてやることができます

◇何故ならば多くの婦人は柔道の心得ある人が極めて稀な爲め暴漢は斧分の油斷を以て女に對しますそれで婦人がもの丶一年も稽古してかゝれば萬一の場合相手を懲らす位ゐ譯はありません

◇婦人方の主に肩が怒るだらうとか身體が肥るだらうとかいろ〳〵な御心配があるやうですが決して那麽憂ひは要りません健康で血色の良い婦人なればこれが一番の美人と申されませう(愛武館磯野氏談)

□中食に十分要る奴は病人だ

▽米國ペンシルバニア大學法科卒業生マコール君(三七)といふのが六日入港の嚴島丸にて上海から神戶に上陸した米國の學生氣質を見てやらうと試みに其居室を訪ねて見るとマコール君素ツ裸にズボンと云ふ輕快な扮裝で荷拵への最中だ、ナーニ構はないからズツと入り給へ

▽京都に往くのだが働きながら語らむと云ひつゝ時計を見ながら旅行鞄を締める、僕は本年六月にペンシルバニア大學法科を卒業し之から辯護士にならうと云ふ所だ、豫科に三年、本科に五年、都合八年下宿屋の飯を食つた、所で愈々辯護士になる日には今後多少東洋の事情も辨へて置かねばならぬ殊に

▽支那は將來事業家の活動舞臺であるから先づ同地の情況を調ソレから日本に逆戾した譯で之から十分日本を分析したいと想ふナニ國會議員に打て出る下拵へではないかとソレはチと早過ぎるが米國代議士には一人として法曹界出身でない者はないね、ヤツ時間が來た、殘念だが話は京都から歸つてからに讓らう、荷物は此ホテルに預け明後日は歸つて來る僕等のクツキ、ランチ(早飯を)君方は御存知あるまい、米國では

▽中食に十分間要る奴は病人でなくば餘程の溫ツぱい人間で普通はフリー、ランチ屋へ驅け込み皿に盛つた奴を勝手に啄くつき代價を拂つてサツサと飛び出す之が僅々五分間だ所が今日は三宮驛發車時間の餘裕が車上の時間を差引いて五分しかないから僕は之から三分間で中食を濟すのだと云つゝマコール君は食堂に飛込み忽ち出で來りて挨拶もソコ〳〵に三宮驛へ俥を飛ばしたヤンキー氣質もなか〳〵面白い

●京元線の松茸

—元山附近釋王寺の松山—

元山附近の京元線釋王寺はあの幽邃な森林と李朝大祖の建立した伽藍とを以て有名であるが昨今はまた名物の松茸がとれ出した、相場は一斤二圓または三圓で京城商人の手に買取られつゝあるが若し茸狩を試みたい人があれば入場料四十錢にて幾らでも採らせる、また潮松園の溫泉も自由に入浴が出來る南大門驛からは朝の九時三十分に發車してその日の午後三時五十分に釋王寺驛に著く、宿は驛前及びお寺で泊めて吳れる

●婦人と子供の博覽會

□東京不忍池畔に □富士山の大模型

同榮東京日日新聞社主催の下に今秋九月十五日より十一月十五日まで東京上野公園不忍池畔に開設せらるゝ婦人子供博覽會は鍋島侯爵夫人を總裁に、大隈伯爵夫人を會長に、小笠原伯爵夫人を副會長に推し武井男爵夫人、成田氏等を始め都下に於ける著名の人々十名を顧問とし、其他名流の婦人一百餘名を協贊員に仰ぎ空前の新趣向を以て設備せられたる次第なるが同博覽會は專ら婦人問題、子供問題及び家庭問題等に就て實地の材料に採り其標的に取り進步したる解釋說明を與へんとの抱負を以て企畫せられたるものなれば出品物其他陳列品の精選は素より構內運動場、遊戲場、休憩場、各種工藝の實演場、參考館等に至るまで總て婦人、子供、家庭の諸問題研究の補助となり資料となるべき用意を以て施設せらるゝ由にて開會の曉には滿都の人氣を沸騰せしむることなるべし、また同時の餘興として會場前の廣場に架かるべき富士山の模型は頗る大規模のものにて實物の百分の一を有し關係者十數名實地に登山し委しく踏査を行ひて築造したるものなれば形狀其他に於て實物と異る處なき樣設計せられ觀覽者をして登山せしむる筈にて同博覽會唯一の呼物たるべし婦人子供に關する特殊設備の各種出品物は東京美術學校長正木直彥氏及び嚴谷小波氏の考案に成り其背景は洋畫界の大家五姓田芳柳畫伯が門弟を助手として自ら揮毫したるもの丶由なれば總て十二分に完備したるものなりといふ

—△會のいろ〳〵▽—

□基督敎演說會 九日午後八時より本町三丁目壽座にて開催、牧師宮崎小八郎氏の『基督敎の使命』及び東北學院敎授笹尾粂太郎氏の『國民の將來と基督敎』あり猶ほ江原素六氏の講演は『孔子敎と基督敎』と題するものなり

神社とお寺と敎會

○西本願寺(若草町) 十日午前九時より日曜學校あり、光岡、弘中、山本三師の法話及びお伽噺あり猶ほ午後八時よりは日曜講演あり講師は田中氏の『成功の三要素』及び末岡氏の講話あり

○天理敎(永樂町) 九日午後八時より靑年會を催す由

○開敎院(本町三) 十日午前九時より日曜學校あり同午後七時半より日曜說敎あり

○曹洞宗別院(若草町) 十日午前九時より藏風會例會あり

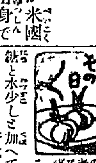
○妙心寺(長沙洞) 十日午前九時より無盡燈論の提唱あり

○メソヂスト敎會(南大門通) 十日午後八時より江原素六氏の『僞は死なり』の說敎あり

婦人界消息

▲水野いち子(私立實習裁縫女學校長) 病氣のため八日夜逝去、葬儀は目下靑森女學校在學中の令孃入京の上執行、お年は四十四歲

▲黑田せい子(鍾路小學校補習科敎師) 今回三重縣津市公立技藝學校より轉任、九日より登校せらる、東京女子職業學校卒業生



□新生姜べつ甲煮 新生姜の皮をこそげて薄く切り、砂糖と水少し加へて、中火にて暫く煮、中頃よりまぜながら煮汁が大方煮つまるまで煮て、鍋の煮立ちたる湯に入れて四五回煮立てゝ水に取り、晒してざるにあげ、鍋の中に入れ、砂油を少しさし、手早く皿に移げ、さまして瓶の如きものに入れ置く(靑木はつ子)

番茶のあとこ

德壽宮會計課の末松多美彥氏は此のほど金剛山から大事な足を挫いて歸つて來た△事の仔細を訊いてみると氏は平素から大の寫眞天狗で最初先づ長安寺附近から內金剛の雄景を撮り出したところあれもよしこれもよしで果ては摩訶衍の岩の上まで攀ぢ登つた△然るに玆に思ひもそめぬ事件が起きたといふのは外でもない△氏が辛ふじて大岩壁の上に三脚を持て今やシヤツタアを切らんとするが刹那足許から大きな蛇が鎌首をたてゝ向つて來た△そこで有繫の末松氏も吃驚して逃げ出す拍子に轉げ落ちたのだ相ながお蔭で暫くは腰が立たず橋の落ちた溪流を渡るにも非常な困難であつたといふ

商況

東京債券現物特電(前日との比較)

東洋拓殖、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮瓦斯、南滿鐵道

東京公債直取引特電(前日との比較)

二日用米債段

深川在米特電

九日現在高 朝鮮米 蘭貢米 內地米 九七、一〇

東京期米特電

九日前場 十月限 後場

前場十一月限	五、二三 五、〇七 五、二四 五、〇九	
後場	一、九八九、一六四 七〇、三二 二三、六三二	

大阪株式特電

九日後場 八日前場 比較

大阪株式、大阪新株、東京米穀、日本郵船、大阪商船、東洋汽船、大日本精糖、紡績、鐘紡、日清紡、大阪電燈、東京電燈、朝鮮銀行、京阪電鐵、阪神電鐵、宇治川水電

大阪三品特電

八月限 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限

前場	四九、五〇 四九、五〇 四九、三〇 四九、三〇 四九、二〇	
後場	四九、一〇 四九、九〇 四九、七〇 四九、二〇 四九、三〇 四九、六〇	

大阪期米特電

九日前場 當限 中限 先限 寄付 一四、三五 一四、六四 一四、九〇 め止

下關期米特電

九日前場 利喰値頃買ひ 當限 中限 先限

雜報

寄付 高値 安値 止め

●石油の近況 內地に於けるタンク油の單獨にて五十錢の値下を發表は內外各社間にて協定の存在を認めしめ更に第三の値下を豫想せしむるが元來タンク油の值下は各社の營業に堪へずして運賃容器高騰より觀るときは到底損失を免かれざれば此上の値下は一片の夢想に止まるのみならず最近事業を以て市場のはくらき跡を絕ちたる模樣を以て今の商情にては會社側の値上は猶ほ當分望まれ難きが如し

●洋釘先高人氣 洋釘は需要期を迎へ品捌け良好なる物一般の好勢に伴ひ益々强硬の成行きなり阪神方面に於ては漸次思惑の加はり居れるもの丶如く市場の商況は次第に影を潛めて昨今に至り高値を著しく賣物缺乏を來せしが今後は春來の下落續き居たる揚句とて此機に多少の痛手を償ひたる向き多ければ大勢の前途は强氣にて或は前の高値以上の市價を現出すべきやも計り難し

●亞鉛板益强健 亞鉛板は此程保稅品の皆無を報じ爾後の約定も捗々しく行はれ居らざる有樣なるが品不足は日を逐うて著しく現に內地市場の在荷も多からず今後多少の豫定入荷ありと雖も大勢は決して弛緩せざる形勢なり

下關相場

△朝鮮白米は變らず 其後二百四十九叺の廻著に過ぎざるも依然買氣の進まざる爲め閑散にて市況面白からずして捗々しからず然れども別に安き賣物の現はれざる爲め格別人氣狂はず之れが出來値は左の通りなり

▲小豆は依然軟弱 本品は旣報の如く米價を始め他品の著しく不引立なる折柄とて依然買氣の進まざる爲め相變らず市況軟弱を極め居れり左れば別に投げ物も又現はれざるもの丶如し

▲大豆は矢張保合 其後本山產五十俵の廻著に過ぎざるのみならず前日報ぜし如く過日來五島物の如き多數の出廻りを見るに至りたるも段々他へ向け積み出したる向あるさ中には不引合を唱へ倉入れする手口も有之に付き漸く賣物多からぬと產地も別に安からぬ旁各手持筋の安くは手放さざるに依り更に市況弛ます之れが出來値は左の通りなり

△朝鮮一等白米(當用) 十五圓六十錢
△同 二等白米(當用) 十五圓四十錢
△同 (當用場口) 十五圓二十錢

京城正米

南大門の廻穀

約十錢方引弛 十五百餘叺

仁川現物市場

●生果類不勢 雨天續きの不況の處へ入荷は連日相當にあり殊に本日は五百個以上の廻著ありし爲め人氣も一層不勢に陷りたり出來値一果一圓內外林檎は上物漸にもあり一個二十錢を最高として梨七八十錢なり葡萄に至つては値段の如何に拘はらず殆ど相人なしといふ狀なり

●鈑力板暴騰 鈑力板は在荷の稀薄と本年末に至る迄輸入なしとの事にて減切市價を釣上げたり茲許唱値三十七圓にて新高値なりといへり

●セメント氣强し セメントは引續き淺野品切れにて之に代り小野田の賣行き好勢なり相場は小口七圓乃至七圓十錢唱へなり七八十錢唱へなり

●內地製粉に壓迫 內地製粉に壓迫を加へんとする傾きあり輸入粉は昨今ベカーイ及びベスト目印位にて荷動常に遲鈍なり內地紙配は原料小麥の波濤に連れ時々變動を傳へ居れるも前月來徐々引締めたる儘小口卸はベスト四圓ベカーイ二圓八十錢月券二圓六十五錢庇二圓六十五錢栗二圓五十錢栗二圓五十五錢處を持合唱へなり

●麥粉は持合 荷動き頗る鈍狀 目下在荷は滿洲製粉尤も多く品質としては和當粘力を有し且つ値頃も幾分格安なる點より菓子屋口を除く外可成りの需要を喚起しつゝある模樣にて動もすれば內地製品の稅濟品か或は內地製品の供給に俟つ外なく今後持品一掃の曉は一時品切れに瀕する場合あるやも測り難しと

釜山市場 八日

△正米同斷 氣配は安明へなるも賣物薄の折柄自然荷主の賣惜み値に引付けられ別段變る模樣なしとの事
△小麥同斷
▲北米(十錢安) 本邦向米は依然輸出の賣惜しまれ狀を示し本日寄付は小甘くされば當市場買物は依然旺盛の上品を投げ出し爲め一層不味の趨勢となれり各種米筋も多少白米の買注文受けし模樣にて一寸買ひ進みの傾きも決して高値にては買入れず去れば賣人も賣り急ぎの傾きなく餘儀なく附値に應ずる商狀にて
▲大豆 國著品懸なく又捗々敷買入もなく氣配鈍狀見送りの商狀なり

中白米 五個 玄米 二四〇七個 古大豆 四個 合計二千四百五十六個

仲買人 三巴仲買店 仁川本町一丁目 電話三一二一

仁川期米

▲九日前場 天候晴天 大阪天候晴天 十五錢安の入電より一節八十九錢の移り

▲九日前場 當限 中限 先限 ……

市場雜聞

▲一變强硬 天候は依然雨天にて氣象觀測所は又もや小雨降り報を發したるに角大阪も之に反し晴天にて天候良好なる電報に遂に十五圓の大關門打破し十四圓九十錢と瓦落を報ず

移りに十二圓三十七錢に下放れに寄付けたるも實は愈々下押しの時期と思はれたが四十錢より優勢な買物現はれたる市場も漸次氣勢を盛り返し一轉化を來し茲に形勢を押し返したる模樣にて大阪も更に十錢方高く直に四十錢に押し戾したり

迅速 確實

仁川取引所仲買人 廣澤正太郎 電話六五番 六三〇番

▲買物の續出に對する賣物多く四十錢より五錢の間に於て茲に先途と戰ひ優勢なる買物の潜み居る振り合ひにて

▲前場の手振 方へ一萬九千餘石

▲大に賣る ▲全能く賣る ▲巨大に買ふ ▲大に買ふ ▲大に買ふ ▲今筋見送る ▲要の賣買 ▲下げ澁ぶる ▲形勢忽ち一變 ▲悪天候の襲來に外 ▲又復警報 ▲天候と稻作 ▲豫測し難き ▲南那邊に迄低落 ▲作柄樂觀 ▲朝鮮も又本年 ▲此の悪天候

仁川米豆取引所

九日の十一月限

段値均平		場前	
一節	十二圓三十七錢	寄付	十二圓三十七錢
二節	十二圓四十六錢	止め値	十二圓四十六錢
三節	十二圓四十五錢	高値	十二圓四十五錢
四節	十二圓三十九錢	安値	十二圓三十九錢
五節	十二圓四十五錢	出來高	六萬二千石

賣買取組高
九月限 一萬九千百石
十月限 六萬七千石
十一月限 [illegible]
八日後場 前日と比較

秋の胃病 赤痢、コレラの黴菌も强壯なる胃液の爲に逢へば忽ち滅殺せられるから、胃を强壯にして置くが何よりの豫防法で之が醫學者の言ふ胃液の殺菌力である然るに秋は日中暑くして朝夕涼しく氣候の變動甚だしき處へ夏の間に弱りたる胃は胃液の作用も不十分で兎角胃腸病が多いから何をせずとも健胃の用心が肝要で其れには五大軍醫合議製劑の胃活…………善は急げ、今直ぐに……

胃病 良藥 胃活

◎あらず
(一)胃活は重曹主劑にあらず
(二)胃活は一時的の消化藥にあらず
(三)胃活は口中藥にあらず
(四)胃活は容量の大なる藥にあらず

胃活の効能は
胃弱。りゅう飲。胃カタル。胸いた。しやく。腹はり。胸痞へ。食進ます。食進み過。食傷。むかつき。胸やけ。げつぷ出。二日醉。通じなき其他一切の胃病に奇効あり……試み玉へ

胃活錠は飲むに湯水を要せず携帶に便利な錠劑なり……

買入注意 藥は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ藥は可成高きものを買ひ玉へ
胃活錠定價壹圓、五拾錢、廿錢 胃活定價壹圓、六拾五錢、四拾五錢、貳拾五錢、拾錢

本舖 東京本銀町三丁目山田安民藥房
大阪南久寶寺町二山田安民藥房
賣捌所 全國各藥店にあり

修學期限 百日間 入學生徒數約五十名 資格十一歲以上男女
九月十五日開始 自午後七時至同九時
生徒募集 珠算速法百日稽古
希望者は來十五日迄に左記へ申込あるべし
申込所 仁川宮町 阪倉藥店內 仁川速算學會

印刷
諸印刷品御調製の節は一應弊堂に御照會あれ
東京京橋中橋電車停留場前 大津大榮堂商會 電話京橋二五四四番 振替東京三三六〇三番

米價と財界
去る七月下旬より八月中に亙りて九州中國及北國地方に向け店員を派遣して親しく稻作狀況を視察せしめたる報告を綜合して本年の第一回米作豫想は昨年より八厘減平年より五分增を以て其の中庸を得たるものなりと想定し居たりしが其筋の發表は而も我が豫想を超越して昨年より五厘六毛減平年より六分七厘增とあり孰れにしても本年又豐作を豫想し得べき現象を呈しつゝあるは邦家の爲め慶賀すべきのたるを疑はず然るに他面に於ては本年一月以來我貿易界は各月輸出超過にして年末迄の豫想を加算し實に約二億圓に達すべしと報せられつゝあり如斯米價と財界膨脹は古今未曾有の大慶瑞を示しつゝあるが如きも果して前途の歸著點は如何是非最も深甚の講究を要するものならざる可らず請ふ大方の諸賢高敎を賜へ
大阪堂島米穀取引所仲買人 曾我一郎商店

遊漁御案內 仁川仲町三丁目穴門通(電話二三五番) 仁川用達社遊漁部

建築と設備とは國境に於る代表的旅館なり 親切叮嚀勤勉は當旅館の特色なり
新義州常盤町 綠屋旅館 電話六四番

好評嘖々たる! 携帶用
商工業者の羅針盤 仕入商人の好伴侶 大阪仕入案內 第九年九月號出づ
▲附汽車旅行案內 ▲大阪地圖添 一部十五錢(稅共) 一年分前金八十五錢
▲本紙には確實なる現金問屋の物價を網羅せり 每月二回十日廿日發行 一年分前金六十錢 稅共
大阪西區阿波堀通四 大阪仕入案內社 振替大阪一四三六七番

品質純良 粕取燒酎 味淋
發賣元 三巴酒造場 電話一〇六七番 三巴大田支店 電話一二五番 三巴平壤支店 電話一二一番 京城蓬萊町

內科 小兒科 外科 花柳病 診察 自午前八時至午後九時
西小門町菅醫院跡(電話一三二五) 高井醫院分院
院長 正六位勳四等醫學士 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彥

宮本武藏

第百五十四回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

天草の離れ島に於て毛利宗意軒と蘆塚忠右衛門が天下に亂を起すことを計畫いたしました、此島も後ちに談合島と申しましたが、毛利宗意軒が蘆塚に何を話したかといふと第一番に領主寺澤兵庫頭が奢りに長じて領分の百姓に難義を懸け民の膏血を絞り取るゆゑ領主を怨まぬものは一人もない、又表向は佛門何宗旨と云つて居るが、内々は切支丹宗を他まで信じ寺々の出家僧侶威勢を震つて武家の者共を奴僕同樣に扱ふに依つて之を憎むこと一方ならず、民の怨むるは大亂の基といふ事がある此際百姓を煽動すれば立所に一揆が起る猶其上關ケ原の戰ひ了つて三十餘年大阪の戰ひより、二十三年になる、其兩度の戰ひに打滅らされし浪人共肥前肥後の兩國に忍んで、窃かに亂を待つ者が幾千人あるか數を知らん位ゐ、一揆蜂起と聞かば招かざると雖も馳來つて旗本に集まるは火を見るより瞭らかである、一旦國中を騷がして此島から肥前の地形に移り天下の軍勢を兩三度打破りなば九州諸國の大小名の中徳川を恨むものもあるに依つて必らず内應をするに相違ない、亦内應いたさぬまでも決して恐るゝに足らず、然る後天主教の本國羅馬へ人を遣はし、彼の國の軍艦を借受け、大砲石火矢の類ひを以つて戰はゞ天下の大軍なりとても破るに難きことやあらん、味方勝利を得なば直ちに江戸表へ差して取詰め、徳川幕府を倒して自から取つて代り天下の武將として四海の權を掌に握れるといふ、此位ゐ愉快な事はない假令事成らずとも其迄、天下の大軍を引受けて潔よく切死をする之れも男子の本懐であると、毛利宗意軒が細々意中を語りましたから、蘆塚忠右衛門も同意いたし、遂に茲に毛利宗意軒の意見に随いて一揆を起さうといふ事になつた、其れにしても先立つものは金銀、一揆を起すのは明日にも出來るが金銀がなくては仕事が出來ないから先づ有福な連中を味方に引入れなければならんと其日は其儘別れました、之れから兩人で奔走を初めた、毛利宗意軒の方では前申上げた天草玄札、大屋野松右衛門、千束善右衛門、大江源右衛門、赤星宗伴などといふ一味の連中が居るが何れも浪人の事で金はない、又蘆塚忠右衛門が懇意にして居る千々輪五郎左衛門、軒山善右衛門といふ兩人何れも浪人で武術には達して居るが金は更に無い、幷で此面々が更に寄集まつて相談をして此邊での金持といふのは大江村の治兵衛といふ大名主、此人の庭へ近頃見知らぬ花が咲いた誰いふとなく天帝如來の愛花だといふ評判であるから當人も夢中になつて切支丹を信じて居る先づ此男を説付けて軍用金を出させやうと考へた幷で軒山善右衛門が懇意にして出入して居るから善右衛門を以つて話をさせると此治兵衛といふ人が元々切支丹の大信者であるから喜こんで同意いたし茲で二十何萬といふ金を出した、喜んだのは一同、此金があれば立所に一揆を起す事が出來るといふので幷で支度に取懸つたが表面は飽まで切支丹の再興といふ名目であるから大江村の治兵衛への邸宅を明放つて寺院同樣にいたし、正面に天帝如來の畫像を懸け、其前に燈火を掲げ、香花供物を置いて治兵衛を正面に、其外毛利、蘆塚、天草、赤星、千束、軒山、大矢野などゝいふ面々何れも衣服を改め著坐いたし胸に十字の徽章を懸けて控へて居る、此事を聞傳へて本戸村、中田村、島子村、潮濱村、花咲村、金谷村などといふ村々近郷近在から我も〱と參詣に來る、其數何十萬といふ夥だしき有樣、雲霞の如き老若男女が『アラ尊とや天帝如來ハライソセンスパリ〱』と異口同音に拜する其聲天地に響き渡るばかり、スルと茲に淨明寺極樂寺といふ淨土宗の寺があつて之を聞くと大いに驚ろき、之は捨置き難しと島子村の德泉寺、潮濱村の千年寺、糟谷村の如來寺、瀨戸村の阿彌陀寺といふ寺々へ通知いたし、六箇寺住職の名を以つて早速富岡の城代三宅藤兵衛の許へ此段訴たへ出でました。

易教會 明治町フランス右トナリ 岡村介石

京染 呉服 たまや出張店 京永樂町一丁目 電話二九六

九月十一日 九星
舊八月十四日 辛亥
本命 一白 北 滿 先負

▲一白●一本調子にゆかぬ事有る日新事見合す可し方は吉睦劍北▲二黒●無茶な事多き日新事手控事は吉女子は行状を守らるべし▲三碧●生氣の日轉居開業入學名進行商用漁獵醸藥品藥等皆吉物に腦の日▲四緑●大祭りの日轉居旅行求職名弘金件道話婚禮入營藥等皆吉▲五黄●たてられ迷惑の事有日新事手控事は吉商談賠財を防がるべし▲六白●商賣繁昌の日轉居開業入學名弘求職金談婚禮貸金居移等諸吉▲七赤●有爲の日轉居旅行等皆吉女子の心美か發はれ立身を爲す腑る振ふべきの日也▲八白●僞りたる斷行日新事手控務事は吉甘き相談に乘る勿れ▲九紫●小膽な趣味する日新事手控務事は吉衛生に注意せらるべし

何を爲すにも先づ 頭腦の健全なるを要す

「腦神經衰弱簡易療法」

▼腦の鈍い人は損

常も頭腦の中が鈍然として塵ッぽ、進守とか向上とか言ふ雄々しい氣象は夢にもなく、事務の才もなければ唯其の日〱を泚然と送る人。氣候風土の變目や天候の加減で頭痛がして、始終顰蹙して眉間に八の字を寄て居るやうな人。一寸した事にも機轉か利かず何をさせても愚圖で判りきつた事にも判斷力の悪い人。斯う云ふ人は怎麼に焦慮ても成功が出來ぬ。

▲怠惰で氣力のない人

其れは皆腦が悪い爲です。「心頭を滅却すれば火も亦凉し」といふ今日此頃各學校では炎天と戰ふ精神的防暑法を奬勵されるとき、傳へらるゝ時に寒暖計の八十度も升れば既う暑い〱で大騷ぎ、眩暈がするとか、頭がグラつくとか、何とか彼とか理窟をつけて兎角怠惰け勝にて自分の責任さへ果せぬ人、生存競爭の激しい世の中に他人の仕事を指を啣へて見て居るやうな無氣力な人、こんな人は終生頭が上らぬ

▲飽易く忘れ易い人

是も亦腦が悪い爲です、折角立派な計畫を立て置きながら着手したばかりに直ぐ飽きてしまひ、一として成就した試がなく、又何事も忘れつぽく、今聞いたばかりの事を直ぐ忘れ書籍を讀むでも記憶力が少しもないこんな事で成功は迚も出來るものではない。

▲意氣地のない人

是れも無論腦の悪い爲です。始終一貫する勇氣がなく常も他人に遂越され、一寸困つた事に遭遇すと蒼くなつて戰慄へ出し、少し威嚇にでも食ふと既う恐しくて慾も得もなくなるやうな意氣地ない人。子供にも易々と出來るやうな仕事が出來ず、常も相手に機先を制せられて外交に連戰連敗するやうな腑甲斐ない人。こんな人では成功は望まれぬ。

▲最良の治療法

腦の悪い人、即ち腦神經衰弱病者に最もよく効く藥は何であるかと言へば、今日では何人も常持醫學士の發見せる良劑レーベンと答ふるに躊躇せぬ、それは岡田醫學博士、森醫學士其他陸海軍々醫諸大家が推奬又は證明せられつゝある事實は何より最善の證據である、而して、良劑レーベンは一般米食人種たる日本人の體質に適するやう其の主劑を植物性に採り、加之るに健腦の養素高貴藥「リンサン」が多量に含有して居るから頭腦を健全明快にし且つ胃腸の緩和を助け逆上を引下げて便通をよくするから逆上へるばかりの壯健な身體となり頭腦に健全明敏となるのである。

▲如此容態の人は

早速レーベンを服用すべきである。前に述べたやうな性質の人は勿論、生來頭痛持の人、氣の短い人、何となく身體が懶く食事の進まぬ人、夜眠られず惡夢に襲はれ半夜醒めて動悸高く息苦しく、取越苦勞の絶わぬ人。事を悲觀する人、逆上、昏倒の癖ある人、其他大酒家、喫煙家は腦の營養を充分ならしむる爲めに始終レーベンを缺かさぬやうにせねばならぬ。

▲治療書は 無代進呈す

健腦良劑レーベンの發見者常持醫學士は別に(腦神經衰弱療法)及び(精神療法)の二著を公刊にせられて以來世の腦神經衰弱病者に對し無代配布の快擧を企てた處が、意外の大好評で常に其の發送に逐れて居るの盛況を見ても如何に同書の有益で且つ腦病患者が無二の慰安物となるかが判ると倶に同書に依て煩悶の生涯から復活した腦病患者の如何に多きかをも知る事が出來る、レーベンの服用と否とを不問此際東京銀座弓町、弘濟院、中南定太郎宛ハガキで申込まれた方には即刻何人にも無代で送本する事になつて居るから多少でも腦病の氣味ある人は、夫の山師者流の甘言にお迷ひなく一刻も早く遠慮なく申込まれたい。

男の生殖器病

生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘術に新案特許眞空療法器と原因療法を併用する時は斷時効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚湧が如し ハガキで申込あれ圖入説明書無代密送す直接來所者には醫院部にて懇切に説明す
▲高評益高きを嫉み大に僞物有警戒せよ
東京神田かぢ町五 電話神田七二二番 東京眞空療法研究所

最も優秀なる淋病内服藥 ゴノチール
一容量(三十球、六十球、百球藥局用五百球、千球入)
今ヤ内外當大家ノ賞賛ニ依リ奏効的確ナル治淋劑ト認定サレタル本劑ハ醫界ノ泰斗エールリツヒ及グツトマン兩博士ノ創見ニ係リ淋菌ニ對シ烈強ナル殺菌力ヲ有スル「テトラメチールチオニンクロールロドチート」ヲ基礎トシ極メテ合理的ニ集成セラレタル者ニシテ彼ノ危險ナル洗滌ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、膀胱及尿道炎等其他泌尿器疾患ニ對シ遺憾ナク治療ノ目的ヲ達シ得ル最良ノ劑ナリ茲ニ各位ノ御試用ヲ希フ
○各地有名藥店ニアリ ○説明書ハ現品ニ添附ス
發賣元 大阪市道修町三丁目 藥品問屋 西村藥林社 電本局二四九一、振替大阪七五九〇

水々しい黑髪となる……
●純良香油に美毛劑調和●
如何なる髪でも一度で忽ち色艷を現す
ホーカー美髪液
秋の抜毛の色をよくし、總てのクセ毛を直し、頭垢が殘らず去れ、香水代用となり、サラリとして稀に爽快を覺ゆ
(本品は近所の店に品切の際は直接振替又は切手代用にて御注文を願ふ)
ホーカー液本舗 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店 振替東京一二五六
定價

効能で賣れる ひえもり
逆上を引下げ便通を促し黴毒其他諸毒を下す
大日本大阪高津 本家七ふくや伊藤長兵衛
電話南七二九 振替大阪九七三

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗

サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店
電話 一四一 八四 四五 九四番
振替京城五七番

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡 富安
發賣元 京城永樂町二丁目 富安

齒科診療
仁川山手町穴門通 東京齒科醫學士 飯塚喜四郎

お髪上げに

代理店 京城南大門通三丁目

平壤名產 子持栗

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城
振替貯金口座
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、安東縣、奉天、大連、長春、開原
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ醫院
電話八二

京城日報 第三版

十日朝刊(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾五錢 廣告料 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

日本郵船 二四四、〇〇 堂島米株 二〇七、二〇 東京新株 三一一、〇〇 十一月限 一四九、六〇 一四九、六〇 十二月限 一四九、二〇 一四九、六〇 一月限 一四九、五〇 一四九、七〇 寄付

△能く賣る ▲今筋買ふ

京城論壇

農村繁榮の根本策

農業思想を鼓吹すると共に地主の奮起を促し併せて農業及農村に於ける初等教育の普及に努めざる可からず

中村彦

歐洲戰爭勃發以來世界に於ける各種貨物の需給系統擾亂せられ、各國何れも自作自給の必要を感ぜざる無きが中にも、糧食自給の如きは最重要問題となり、甞ては農業を犧牲とするも商工業を鼓舞奬勵せざる可からずと絶叫した者をして糧食の獨立は軍用品の獨立と同樣極めて必須なるを覺知せしめ、農業の盛衰は國家の消長に重大なる關係あること今更の如く世人の注意を喚起したのである。此の時に當つて農村の繁榮策を講じ其の實行に努むるは洵に時機を得たものであると思考する。近時内地に於ては農村衰微の傾向あるにや、識者の間に農村問題盛に論議され、農村繁榮策として發表せられたものも少くないが其の内自分の記憶に存するものを擧ぐれば

一、農村に適應せる副業を奬勵する事
二、組合組織の發達に依る農業の利益を増進せしむる事
三、農村と都市との文明の懸隔を可成緩からしめ農村の居住者をして都市に於ける快樂を享受せしむるに努むる事
四、冬季農閑の際農民を會し低度の農業教育を授け若年者修業生に對して春季より秋季に亘り實地に就き教授する事
五、農民をして新智識を應用し一定の面積より農産物産出の數量を増進せしむると同時に其の價格の向上に努めしめ一面耕地面積の擴張を圖らしむ事
六、自作農の増加を圖ること
七、交通機關の發達を圖り且低利資金融通の途を講ずる事
八、農村居住者に對する社會上の待遇を良くする事例へば政府の何々調査會を設置する場合其の會員に從來の如く都人のみを集げず農村居住者を加ふる事
九、都市に於ては生活の競爭激甚にして失敗者多きを以て怜悧なる者にあらざれば都市に出づるも成功し難きを一般に知らしむる事
十、學者、政治家、實業家が都市に集中し大言壯語を事とする爲農村の青年は都市に出で、功名を得むとするに至るを以て斯かる弊風を矯正する事

以上臚列せる農村繁榮策は之を移して朝鮮の農村繁榮策とするに足るは勿論其の大部分は夙に實行中であつて既に成績の見る可きものも少くない次第であるが、自分は尚朝鮮の現狀に鑑み今少しく根本に遡つて必要と認めらるゝ二三の點に就て陳述し度いと思ふ。

△農業思想の鼓吹

北米合衆國の建設者たるジョージ、ワシントンの母親の記念碑定礎式に於て當時の大統領が試た演説中『ワシントンは實に誤謬なき判斷を有せる人なり』と言つてゐる、斯く迄に稱讃せらるゝ偉人の言に『農業は幾多の職業中最健康に適し最貴重にして又最有益なるものなり』とある。少しく之を解説すれば農民は常に戸外に在て勞働し四時新鮮の空氣を呼吸するから身體の強健なるは勿論長壽を保つ者多く子孫永久に繁榮する事實があるが、都市に居住する者は反之其の業務は農民の如く健康に適しない結果死亡率多く長命者に乏しく、英國では『倫敦に居住するものは其の家三代繼續せず』とか或は『都會は人民の墓場なり』とか云つて居る、如斯は文明國民一般に通じた思想であつて、都會に居住する者は時々家族を携へて遠く農村に遊び、又都市に事務所或は居舖を開いてゐる者は人家の稠密ならぬ所から通勤して各自健康の保持に努めてゐる、是れ即ち農村が最健康に適する所以である『最貴重なり』とは國家の興隆は富の増加に依つてのみ得らるゝもので無く夫れと同時にまた強兵であらねばならぬ、之れは今回の歐洲戰亂の明示する所であるが強兵たらしむるには忠良なる國民を養成するにあるは勿論、兵其れ自身の身體が羸弱では如何とも詮術はない、農民が身體の強健な點に於て遙に都人に優れるは徴兵合格者が農村に多く都市に少きに徴するも明白のことであるから、若し農村が衰退する時は軈て國民の體格が衰へ兵力が弱くなる時であつて農村の繁榮は實に強兵の一徴候であると云ふも過言でない、之れ即ち農業の貴重な所以である。『最有益なり』とは農業は元來商工業の基で商も工も其の資を農に仰がざるは無いからである如斯農業は國家の存立上最大切なものであつて『農業は幾多の職業中最健康に適し最貴重にして最有益なるものなり』てふ語は大に尊重すべき千古の金言であるといはねばならぬ、併作ら退いて熟々一國經濟發達の趨勢を觀察するに、副業たる家庭工業に依て生計を維持し來つた農民等は都市に於ける大工場の設置と共に其の副業を奪はれ、加之農村に教育の普及した結果等『教育普及の結果は農民をして都市の外面に現はれた豐かな生活狀態に憧憬して農業勞働を嫌ひ漸次都市に集中せしむる樣になる』而して都市は益々膨脹するに反し農村は愈々衰微して商工業獨り隆盛を極め、都市に富豪輩出して自然土地を兼併するの弊害を醸成する、茲に於て農民は更に困憊を重ね果ては止むなくも農業を捨てゝ都市に集中する者益多きを加へることゝなる斯うなつては農村は衰微せざらむとするも豈得可けむやである。英國の如きは好箇の一例で同國は夙に商工業立國主義を採り農業を輕んじた爲め商工業獨り隆昌を恣にし、今日に於ては英本國の生産に係る食糧は僅に數旬に過ぎぬ狀況に立ち至つた所から大に其の非を悟り、近年力を農業の奬勵に注いで政府は耕地を買收し之を小面積に分割して年賦償還の方法に依り之を農民に賣却して自作農の増加に努めて居る。又今日歐米の政治、經濟社會にレターン、ツー、ランド(土地に復歸の意)の語があるが之は都市に出で、勞働に從事して居る者を農村に復歸せしめむとする意味であつた文明諸國では何れも農民の都市集中の弊害を認めて居るのである。然し一旦都市の生活に親みたる者を農村に復歸せしむることは農村に種々の弊風を移入するの虞があるから之に先達て農村繁榮策を講じ現に農村に居住する者をして猥りに都市に出でざらしむることが必要であると思ふ、尤も農村の生産と都市の消費とが均衡を得るならば農村の人口は多少都市に移住するも其れは敢て憂ふべきでないのはいふまでも無いことである。

然して朝鮮農業の現狀如何を觀るに農業は實に産業の王腦であつて總人口の八割は之を以て生業とし、租稅の六割は地稅で占めてゐるのみならず輸移出貿易は農産の豐凶に依て消長するといふ有樣である。殊に經濟組織の未だ幼稚な時代に在ては土地の利用は經濟發達上唯一の基礎である、が故に、朝鮮に於ては將來益々農業の發達に努めなくてはならぬ。而して之を發達せしむるには農村の繁榮を圖るの外は無い。幸に朝鮮では未だ前記の如き都市集中の弊害を見るに至らないから此際家庭は勿論學校に於ても社會に於ても大に農業思想を鼓吹し『農業は幾多の職業中最健康に適し最貴重にして最有益なり』との格言を國民の腦裡に刻みつくることに努め、朝鮮の農民をして世界に於ける風潮を追ひ同一經路を踏むが如きことなからしむるが肝要である

△地主奮起の促進

地主が單に商業的觀念を以て農民を見ることなく興味をもつて其の改良上各種の施設を爲し能く小作人を指導するに於ては地主は勿論小作人も共に收益を增加すべく、小作人も亦地主に信賴し勸勉力行するに於ては農業の改良は往くとして行はれざるは無いのである、が、小作人を適當に指導するといふ事は誠に容易の業でない、故に品川子が甞て『一地主に從つた書中に『多數の小作人を取扱ふは尋常のことにては無之、一種の手段にては何にも無之、上げて騙うつ樣な手段にては何にもならず、知らず識らずの間に水に浴させて何時の間にか米の改良も出來候樣指へも改良する工夫が肝要なり』とある如く地主は改良の目的を遂ぐる事に非ざれば之が改良に於て大に奮勵することは出來ぬ、故に地主小作人間の關係を法令で規定することこそ農業改良上の捷徑であるとも思惟されるのであるが、然し農業改良の事に通ぜぬ地主と智識及資力に乏しい小作人との間の調和を圖らむとするには法令に先ち當局者は宜しく地主と小作人とを指導し、地主と小作人とを團體に訓練して各其の本分を盡さしむるに努むるが順序であると思ふ。世人は往々小作方法中の打租法や賭租法の如きは農業の改良發達を阻礙するものであるとし、速に定租に改めて以て小作人の勸勵心を助長せよと主張するものがあるが、灌漑の不便な畓に在ては年に依りて豐凶常ならぬ爲毎歳一定量の籾を地主に納入することは事實困難なのみでなく、一任灌漑の便ある畓を耕作する小作人に限つて定租の方法を實行するとしても、其の小作人は相當智識あり又た資力ある者でなくば豫期の收穫を增加することは出來ぬから若し之を定租に改むるとも何等の効果を齎さない。又た假令小作人が收穫を增加し得るとするも勤儉力行の者で無い限りは豐作の場合は契約を履行するだらうが一朝凶作に遭遇した曉には直ちに小作料の減免を求むるであらう、斯くては地主は遂に小作人と共に苦境に陷る譯であるから今後に打租又は賭租を定租に改めるは困難である、故に當局者は今後一層地主及び小作人に對して農事の講習或は傳習に努め、彼等に農業改良の智識を授くることは勿論、地主又は地主會をして優良なる舍音及び小作人を表彰し或は舍音講習會を開いて舍音の農業智識を啓發せしめ、一面小作人の向上心を惹起することに努めて以て地主と小作人とを充分に訓練することが必要である

今參考の爲内地の大地主は如何に小作人を指導し農業の改良に力して居るかを見るに、地主が個人として行ふ場合と、一定の區域を限つて地主會の如き團體を作り、其の力に依つて行ふ場合との二があるが其の施設の種類に於ては大差は無い、即ち左の通りである

一、地主自ら各種農事改良を試驗し、其の成績良好のものと認めたるものは自ら之を實行し、漸次小作人をして實行せしめ、又は專門家の講演を聽かしむる事
二、小作地は可成長期間の小作地たらしめて小作人の位置を確保し一面に於ては小作人の狀況を審査し奬勵事項を完全に實行せる者又は品評會に於て優等の成績を得たる者又は良米を小作米として納入せる者に對し賞を與へて之を表彰する事
三、小作米品評會を開催し品評米は小作人毎に其の納米品位の平均を得る爲め俵毎に付出品せしめ、納米額の多少に依り品評米を數組に區別して一組毎に審査し總數の半數以上等級に入りたるものを以て普通米以上とし受賞者とする事
四、優良種苗を配付し立毛品評會を開催する事
五、改良農具を購入して貸與し、或は糧食を低利に貸與し又は作物收穫の際遲納の約束にて肥料を無利貸與する事
六、畜牛飼養奬勵の爲め年賦償還の方法にて低利資金を融通する事
七、小作人をして貯金組合を設けしむること
八、共同苗代を設置して時間を知らしめ、又は天氣豫報標を設置し日々の作業に便ならしむる事
九、毎月一回農事講話會を開催し、道德、經濟、農業等に就て講話し平素の心得を注意する事
十、每年末小作人一同を會合し精農表彰會を開催して金品を贈與する事

内地の大地主中には舊家が多く地主と小作人との間柄は恰も主從親子の如き關係にあるものがあつて、小作人に對し恩威並び行はるゝのみならず、農村に居住する者が多い爲め農業改良上に於ける効果は極めて大なるものがあるが、朝鮮に於ては奮起を促し活動を期待すべき大地主は多く都市に居住し、今耕地百町歩以上の所有者に就て見るに總計二百八十四名中京城府に居住する者百八名、即ち三割七分、其の他の著名なる市街地に居住する者八十六名で、總數の七割弱に上つて居る、而して地主と小作人との關係は内地に於けるが如く親密なる地方も無いではない——平安北道では地主を父母と唱ふる所もある——が一般からいへば親密ではない樣である、從つて朝鮮人大地主に對して農業改良に力を用ゐしむることは内地地主に比し更に一層の困難を感ぜしむるものがある

斯樣な狀態であるから今後是等の大地主をして大に奮起せしめなくては農村改良の目的は到底之を貫徹することは出來ぬ。朝鮮の大地主をして農業改良に努力せしむるに就ては從來地主個人に勸誘し、或は地主會を設立せしめて其の活動を促し來つた結果、各道共漸次其の成績を收むるに至り、特に内地人地主中には成績良好の者多く、昨秋開催の共進會に於ても大分表彰されて居た、尤も朝鮮人地主中にも表彰された者はあつたが其の數は内地人に比べると甚だ少いから今後一層是等大地主の奮起を促すことに努めねばならぬ。今内鮮人大地主を通じ從來施設してゐる事業の一般を擧げると

一、優良米種普及の爲原々種畓、原種畓、採種畓を設置せること
二、米穀乾燥調製法を改良せる事
三、製莚機、稻扱器、籾摺臼、石拔器、石拔唐箕其の他各種の改良農具を使用せる事
四、畓に於ける二毛作として綠肥又は麥を栽培せること
五、施肥を增加せる事
六、耕牛の增殖に努めたる事
七、副業を奬勵せること
八、小作籾豆等の品評會を開催せる事
九、優良小作人を表彰せる事
十、共同的思想を涵養せんが爲め小作人組合を設置し且其の優良なる者を表彰せる事
十一、舍音取締規定を設け優良舍音を表彰せる事
十二、籾を低利貸付せること
十三、穀類、蔬菜、果樹、桑樹の模範栽培を爲せる事
十四、農業傳習所を設置し優良勞働の製造に努めたる事
十五、荒蕪地を開墾せること
十六、水利を改善せる事
十七、雇人を漸次獨立せしめたる事
十八、模範農場を設置せる事

内地及び朝鮮に於ける地主又は其の團體の實行した事業は大要以上記述したる通りである而して是等の事項を内鮮人大地主に能く說明し彼等をして感奮せしめ以て農業開發の爲めに盡瘁せしむることは實に刻下の急務である

△農業及初等教育

教育普及の結果は前述の如く農民をして都會に集中せしむる一大原因に數ふ可であるが、這は教育の方法宜しからざるに起因するもので、而して教育に從事する者は常に思を此點に致し大に改善に努む可である。農村の淳朴敦厚なる美風を維持し、農民をして輕兆浮薄に流るゝことなく、彼等が都市に集中するの弊を豫防するには農村に於ける初等教育に最善の注意を拂ふことが肝要である。朝鮮では此の點に就ては特別の注意を拂ひ、明治四十四年八月發布の朝鮮教育令には第三條に『教育は時勢及民度に適合することを期す可し』と明記され、同年十一月同令施行に關する訓令中には『普通學校は初等の普通教育を爲す所にして其の本旨とする所は兒童身體の發達に留意し國語を教へ德育を施し以て國民たるの性格を養成し、其の生活に必須なる普通の智識技能を授くるに在り(中略)手工、裁縫及び手藝、農業初步等に至りては男女各其の賦性に應じ必須なる技能を得せしめ併せて勞作の趣味と勤勉の習慣とを養はしむるを要し(中略)其の教授をして生活の實際に稗益せしむることに勉むべし(中略)要するに普通學校は必ずしも上級學校の豫備教育を爲す所にあらず其の教育は直に以て修身處世に資する所あらしめむとするものなり』云々とある

元來東洋を通じて一大弊害とも謂ふ可きは、實業を卑むで空理空論を弄し勤勉力行の風を缺いでゐることである、而して内地に於ける農村の初等教育は近時改善に努めつゝあるも從來は他の教育と同じく教授は兎角理論のみに馳せて實地に重を置かなかつた爲、生徒は實地の修業を缺ぎ折角修得した智識も卒業後生活の實際に稗益することが少いとの批難は屢々耳にする所である。朝鮮は幸に前記の通り夙くから此點に注意してゐるから殆ど理想的に進行し、公立普通學校四百十校中三百三十二校迄は正科として農業を課し其の成績頗る見る可きものがある、而して卒業生に對しても學校は始終連絡を執り指導を怠らぬから將來益々好成績を示すこと、思はるゝ、公立普通學校に對して豫期の成績を擧げしむるには其の教員を選擇することが極めて大切であるはいふ迄もないが、目下其の教員は官立高等普通學校に師範科を置いて高等普通學校卒業生を收容教育して居る、高等普通學校に於ては農業科を必須科目としてゐるから彼等は相當農業の智識を有してゐる又た内地人の尋常小學校に在つては土地の狀況に依つて教科目に農業を加へることを得る規定があり、其の教員は京城中學校附屬の小學校教員養成所に於て養成せられ是れ亦農業の科目があるから相當農業の智識を持つてゐるのであるが公立小學校に農業を加へられたのは昨年三月の事であるから其の成績の未だ見る可きものゝ少いは止むを得ぬ次第である。次に農業教育を施す學校を見るに簡易農業學校と農業學校との二種に分れてゐるが是等の學校も時勢と民度とに鑑みて特に重を實習に置き、理論に偏せず高尚に流れず專ら土地の狀況に應じて實際に適切なる教育を施して以て其の生活に必須なる智識技能を修得せしめ進むで農業の改良發達に資せしめむことを期し、既に簡易農業學校の數は五十三其の卒業生約千八百人、又農業學校の數は十五其の卒業生約八百人此の外官立農林學校一あつて卒業生約三百人を出し、尚ほ各道共鋭意奬勵の結果、農業者の子弟にして長期短期の兩種の講習會は普く各地に開始せられ、之を併せ講習を修了したものは十萬に近い多數に上つてゐる。

如斯朝鮮では農村に於ける初等教育に多大の注意が拂はれ、又農業教育も重きを置かれ相當施設されてゐて其の効果の大に見る可きものがあるは喜ぶべきことであるが、二百六十餘萬戶一千三百餘萬の農業者に取つては未だ之を以て足れりとする事は出來ぬ、故に將來益々此の教育を隆盛ならしめるは勿論、其の內容の改善に努力して以て之が効果を更に大ならしめ度いものと思ふ。從來開催せられる普通學校、小學校、簡易農業學校及び農業學校職員に對する農業講習會や總督府に於ける農業教科書の編纂や又は本年々頭に發布せられた教員心得の如きは何れも鮮內の子弟に適切な教育を施さむとする趣旨に外ならぬものと考へらるゝ、希くば教員生徒共に其の趣旨のある所を能く了解して一に農村の繁榮に資せんことを翹望する

朝鮮の農村を如何にして繁榮せしむべきやに就いては素より幾多の方策を實行しなければならぬことは論ずるまでもないが之れ迄述べた如く國民一般に對して大に農業思想の鼓吹に努め、進むでは農業經營の當事者たる地主の奮起を促し、併せて將來の農民又は農業指導者たるべき者に對して適切なる教育を施すことに力を用ゐるは其の根本方策として極めて必要であると思考する。若し官民共に深く此の點に留意し協力一致以て之れが實行に努むるならば農村の繁榮は期して待つ可きである。敢て非文を草して識者の一考を煩はすこととする。

一、石炭(切込炭)四百噸
右購買ス詳細ハ九月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

第一號 龍山步兵聯隊兵舍屋根修繕工事
第二號 平壤步兵聯隊兵舍屋根修繕工事
右工事請負入札ニ附ス詳細ハ本月四日朝鮮總督府官報ニアリ
第十九師團經理部

公告
第一號 京畿道金浦郡郡內面所在紅島草坪面積五十二萬一千三百一坪
第二號 京畿道金浦郡高村面所在香山草坪面積八萬八千六百十三坪
右草坪內ニ於ケル本年分生草競爭入札ヲ以テ公賣ス望ノ者ハ九月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正五年九月十五日
金浦郡

校舍移轉
校舍狹隘に付左記の處へ移轉す入學者は速に申込むへし
京城明治町二丁目(番僑町)二一
京城簿記專修館

公告
一、所在地、忠淸南道公州郡反浦面洞鶴洞所在金鑛
一、鑛區、四十萬四千九百零八坪
一、許可月日及番號 大正五年二月二十三日附第二〇四九五號
一、賣主、忠淸南道天安郡廣德面寶山院 李和奎
一、買主、全羅北道多佳町 佐々木篤太郎
右之通賣買契約期日大正五年七月三日に付右鑛區に對し利害關係を有せらるゝ御方有之候はゞ來る大正五年九月二十五日限り御申出下され度右は御念の爲め一通公告候也
大正五年九月九日
右買受人 佐々木篤太郎

產婆並に看護婦生徒募集
入學期十月四日 規則書郵券二錢
長崎市廣屋町 私立長崎產婆學校

京元線釋王寺溫泉場 溫泉旅館
鶴松園
今や松茸狩の好季節

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
八犬傳物語	大町桂月	九五
安價滋養食物の研究	伊藤一次	六五
最新例題精義習字獨習	佐藤豐之助	六〇
實踐國際爲替 訂正版	小林彌三	一、八〇
生死脫離と武士道	橫尾賢宗	一、〇〇
巫女殺し	上司小劍	五〇
自然と愛	金子薰園	五五
法學通論	市村光惠	一、一〇
同 行政法	織田萬	一、三〇
朝鮮語學捷徑	佐藤隆堂	五〇
百鬼怪談海底地獄	江見水蔭	八〇
坐禪指南	蓮沼宜全	八〇
心身改造科學的統一法	檜山鐵心	六〇
一人で樂める西洋カルタ	市川忠式	三五
大ナポレオンの妻	永代靜雄	六〇
カイゼル外交の告白	若林銳一	七五
成金物語	千原伊之吉	一、四〇
朕が作戰	カイゼル	九〇
世界統一	同	九〇
朝鮮法令輯覽	總督府編	九、〇〇

京城本町二丁目 電話二六六番 振替京城二四五番
日韓書房 京城 農松堂書店

○蒙軍自由行動を執らん

蒙古軍は支那軍が攻撃せるを以て歸蒙條件は嚴守するの要無しとし向後自由行動を執るに決せりと（公主嶺電報）

○支那軍の苦しき立場

張督軍は蒙軍を討たざる方針を執り蒙軍は恣に掠奪強姦の暴惡を行ふも支那軍は討つに討たれず苦しき立場にあり（奉天特電）

○我兵楊家城子に急行す

鄭家屯より公主嶺に歸著せる松村聯隊外一個中隊九日楊家城子に急行す（奉天特電）

○悉く賊たらん

馮を革職せば

馮麟閣革職の我要求に就き張作霖督軍は彼を革職せば其結果彼の全部下は悉く賊に趨す可しとて其實行難を說けり（奉天特電）

○蔣少將渡日談

蔡鍔入院手續の爲め

支那陸軍少將蔣方震氏は九日朝鄭船春日丸にて門司著福岡へ向け出發せり共用務は今回蔡鍔氏福岡大學病院に入院の手續の爲めなり氏は語つて曰く蔡の病氣は咽喉病にて目下上海の獨逸病院に入院中にて病氣は昨年來の事なりしも時局多事なりし爲め今日に至れるが南支大體平穩に歸したれば來る十日上海發の邦船伏見丸にて長崎著福岡にて療養の筈なり又唐紹儀氏は時局に鑑み一週間內には條件付にて就任の筈なり廣東の龍濟光氏近く陸榮廷氏に引渡しを爲す筈なり蔡鍔氏療養中は羅佩金氏其任に當る筈なり（門司特電）

○羅國東南部の一大戰闘

羅馬來電＝無線電信に依れば、羅馬尼の東南部に於て一大戰闘進行中にして露軍はダニューブ河と黑海との中間に於てドブロヂア前線に進撃しつゝあり（紐育電報）

○ハリッツに火災を起す

羅軍ターチエカイを撤退す

露國公報に曰く、露軍はハリッツ、セミコウツ、オドニキ間の鐵道を占領しハリッツ市街を砲撃し同市は今や火災に罹りつゝあり羅馬尼軍は有力なる獨勢軍の壓迫の爲めターチエカイより撤退したり（倫敦電報）

○敵兵驅逐

露都來電に依れば、敵はドルゼザニー地方の最後の防禦線より驅逐せられたり（紐育電報）

○ソンム戰況

敵逆襲の力無し

巴里來電＝七日夜發表の公報に曰く　ソンム以北の所々に於て激戰行はれ共南方に於ける敵は我砲撃の猛烈なる爲め殆んど戰闘力を失ひ逆襲を敢行し來る力なし（倫敦電報）

○東阿降伏

公報に曰く　東部阿非利加のキルワキヴンデ、キルワキシワニ兩港は海軍が砲撃す可しとの威嚇に對し降伏せり（倫敦特電）

○英國貿易增加

本年八月中の英國貿易は昨年の同期に比し輸出に於て一千五百二十八萬一千四百六十八磅輸入に於て六百七十一萬五千九百十五磅の增加を示せり（倫敦電報）

○首相日光伺候

大隈首相は九日午前上野驛發汽車にて日光に赴き田母澤行在所に伺候聖上陛下に拜謁仰付られ親しく天機を奉伺し內外政務に付き奏上する所ありて終つて皇后陛下の御機嫌を奉伺し即日歸京せり（東京特電）

○豫算査定終了

大藏省の豫算査定は既に終了せるにつき來十三日頃內閣に廻送さる可し（東京電報）

○京都醫科大學長

京都醫科大學長は森島庫太氏と決定せり（大阪特電）

○京都市參與當選

京都市參與は大野盛郁氏當選せり（大阪特電）

○廣瀨軍經理部長赴任

新任朝鮮駐劄軍經理部長廣瀨正德氏は十日午後四時東京驛發汽車にて赴任の途に就く筈（東京特電）

○日滿貨物輸送

八月中に於ける朝鮮經由及び發著日滿貨物の輸送成績を見るに東清鐵道側に於ける發著驛は例月の如く哈爾賓一驛のみにして數量左の如し

內地發哈爾賓著	一〇〇五噸一
朝鮮發　同	五六一噸五
計	一五六六噸六
哈爾賓發內地著	（九瓩）
同　朝鮮著	二六噸七
計	二六噸七
合計	一五九三噸三

今貨物品種の主なるものを擧ぐれば左の如し

內地發	綿布	四八六噸四	前年に比し 三一〇噸八增
	メリヤス	三〇四噸五	同 一七四噸五增
	綿絲	三九〇噸六	同 三九〇噸九增
	雜品	四噸八	同 [illegible]減
	白米	三六噸七	同 三六噸八減
朝鮮發	白米	三五九噸三	同 三〇七噸增
同	雜品	一噸〇	同 〇噸三減
朝鮮著	麥粉	二六噸七	同 二六噸七增

にして斯くの如く運送數量の激增せしは歐洲諸國より輸入品の拂底暴騰せるに加へて露國內地生產の減少せるに依り其代用として日本品の需要を喚起し益々其販路の擴張せられたるに因るものなれども殊に八月は秋物仕入時期なるが爲なり過般來大邱地方產生果の哈爾賓方面輸出試賣中の處其成績良好なりしに依り八月に入り第二回の輸出を爲せしが尙續々輸出の計畫中也又哈爾賓より京城へ廿六噸七分の麥粉輸入あり之れ哈爾賓製粉會社が直販路を時局の爲め朝鮮に向けしものにして米國よりする船運賃の騰貴せる折柄尙引續き此方面より麥粉の輸入を見るものと期待せらる

○營林廠半期成績

營林廠に於ける本年七月末迄の直營造材はテッセン松及びテッセンカラ松丸材角材を合せ八八〇六尺締直營運材二萬六千九百六十二尺締流筏十萬七千四百十七積尺締筏五萬五千四百八十四積尺締製材々積九萬九千百九十三尺締製材九萬一千二百八尺締原料收材四萬五百九十七尺締木材受拂受入六十一萬七千五百八十二尺締拂出十七萬三千三百九十七尺締賣却木材及副產物賣却尺締七萬六千六百二十八尺締價格二十七萬一千七百二十圓なりと云ふ而して營林廠工場に於ては從來製材仕上場二百九十六坪の上屋を以て材木置場となしつゝありしが近時事業の發展に伴ひ狹隘を告げたるより更に二百九十四坪の仕上場一棟を增築し尙製材格納庫五百四十六坪及び四百三十四坪及び二百十坪の三棟を建築中なるが來月中旬までには全部の竣工を見るべく尙其他に職工の休憩所及工場の二棟即ち八千坪の建築を爲し居れり目下營林廠に勤務せる職工は內地人四十二名鮮人百十名支那人百四十一名にして此他臨時雇として殆ど百名近き人夫職工働き居れり七月末日までは師團軍用材の注文を受け一晝夜に七百尺締の製材を要せし故工場のみ晝夜從業せしめ居りしが目下は第一を極め居れり而して軍用材の注文受渡は九月中旬を以て完了する由なり目下職工の給料は內地人最高一圓五十錢最低七十錢鮮人最高八十錢最低卅五錢支那人最高六十錢最低卅錢也

○黑鉛移出旺盛

內地造船鐵工界の盛況に伴ひ其の坩堝用として缺ぐべからざる黑鉛の需要は非常に增加し爲めに朝鮮產黑鉛の內地移出は昨秋來旺盛を極め居れるが本年に入つても依然平安忠清道產は主に釜山を經て咸鏡道產は城津及び元山を經て內地各方面に仕向けらるゝ者多く八月の總高は六萬二千餘圓にして本年一月よりの累計は三十五萬零十二圓に達し之れを前年に比すれば二十三萬圓の激增を示し居れり尙ほ新安州に福井谷口氏等の共同經營に係る黑鉛精製所設けられ最近は精製品の移出少からずと

○全南棉作々況

播種期より既に霖雨の爲め惱まされ十數日を遲れて漸く播種を終り發後の天候思ふ樣ならず爲めに發芽は好況を示したるも成育は不良のみならず低下地の如き濕潤の程度を越えたる爲め除草も出來ざりし箇所尠なからず彼之と妨げられしも開花は割合に早く既に結實せるを以て最早や綾期に在り而して本月二日道當局にて第一回の收穫豫想を發表せしが即ち二千四百五十一萬三千七百十斤にして昨年の實收高二千四百七十三萬千八百三十八斤に比し約二十二萬斤の減收を示せり、二千萬斤に對して二十二萬斤の減收は僅かに一分減にして悲觀すべきに在らずと雖も作付反別昨年より激增せるを以て若し之を反當り收穫に比較すれば約三割を減ずる事となれるを以て不作は既に蔽ふ可からざる上今後の天候若し今日の如く降雨多かりせば作柄益々不況に陷り一分減收見込みは或は一割二割減となるやも圖られず今日の一分減は今後の天候を順調に見積りての事なれば一雨每により以上の減收を示す事となれば此際天候の順不順は全南棉作の生命を定むるものとす然れども都合のよきは米國棉作柄の不況は棉花價格を暴騰せしめ昨年百斤四十圓を唱へたるもの本年は五十圓臺を唱ふるに至りしかば多少の不作は意とするに足らず農家の收入は却て增加するに至るべしと（光州）

○仁川在米と出廻

毎年市場閑散の時季に於て今年は例年の玄米大豆小麥等を合算して七萬石の在庫米を有する仁川穀物界は從來曾てなき殷賑を極め居れり各銀行倉庫を初め個人倉庫に到る迄殆んど充滿し銀行倉庫は固より金融の便ある個人倉庫の重なる者は其地域の遠近に拘はらず居藏保管又は出保管の性質を帶びたる特種の便法に依り預證券發行若しくは商品貸出の便を圖り居藏物活動して何等停滯の虞なきが之等の在庫米は或は大部分は露國輸出として差向けらるべく藏入日數の經過したる所謂秋穀米は多くは精米に供する者の如く內地方面への移出は相場關係に依りて轉動するは明なり現在の相場より推すときは捗々しき捌口なかるべしと觀測せらる然れども新米の出廻期既に刻々に迫りつゝあれば久しく貯藏に耐へざる者は無論此際精搗用として賣買成立すべき見込ありて精米業の現下の狀況より察すれば精米需用の程度に依りて其旺盛なる精搗力は忽ちにして在庫米を減少するに至るべく朝鮮の米作に付ては各地共に風雨の爲め河水汎濫して被害ありたる向後に於て是非なき限り良好を唱へられ收穫豫想に格別影響なかるべく殊に內地は豐作なりと謂へば米價は漫りに崩るゝ事なかるべきも豐富なる收穫に對して手持筋の如き其作柄を見て手放すは自然の勢ひと見るの外なきか兎に角新穀期を前に控へたる仁川市場は愈々出廻りの盛大を見在庫米の大部分は夫々消化するに至らん（仁川）

○慶北優良米穀普及

慶北道は農產主要地にして現今田面積十四萬町步に達し本年百四十餘萬石を算し道內消費米を除き輸移出米は卅五萬石を示しつゝあるが道當局は極力優良品種耕作獎勵をなしたる結果明治四十四年には優良種面積五百八十町步なりしもの大正元年には一躍四千五百十五町、同二年には一萬五百六十六町步、三年には二萬一千五百十八町步、四年には三萬八千七百三十六町步、本年は七萬五百六十二町步に達し米耕作面積の過半を占むるに至り收穫の如きも約百萬石を算し此分にて努力せば豫定の計畫は一兩年を出でずして奏効するを得べしと

○慶北道鑛產額

本道の鑛產物は金、銀、黑鉛、石炭等にして大正四年度に於ける產額は金銀黑鉛等二萬七千九百三圓六十錢なるが產地は金泉、慶州、尙州、高靈、漆谷、善山等の各地なり

○土地臺帳引繼

臨時土地調查局にては八月下旬以來忠淸北道陰城、堤川、槐山三郡忠淸南道[illegible]北道沃溝慶尙北道榮州奉化慶尙南道晉州昌原泗川山淸咸陽各郡の土地臺帳完成に付何れも郡廳に對し引繼ぎを了せりと

○調查汽船注文

三萬圓の豫算を以て本年度中に建造の筈なる水產試驗調查汽船は此程大阪原田造船所と契約成り目下其の手續中に在り同汽船は六十噸木造船にして平時の速力八浬なるも急を要する場合には十二浬以上を航走し得可く其の用途は海洋調查、漁業採檢及び製造場あり又た曳船の裝置ありて有ゆる方面の使用に適し尙ほ追つては採海燈をも据ゑ付く可しといふ

人事消息

▲千谷好之助氏（東北帝大講師）九日夜入京天眞樓へ
▲三原新三氏（木浦勸業模範支場長）九日朝入京滿尾旅館へ

南言北語

近來の戰報が聯合軍側に有利なのは大に溜飲が下る▲內輪揉めの勃才利も大抵なら何うにかならう着膨も無論のこと今は唯時機の問題だ▲獨逸の陣立が愈々巴爾幹方面から崩れかゝるのも時機の問題だ▲其の時機の到來さへ共に無[illegible]はグルリと廻る▲最近獨逸の成[illegible]が[illegible]の關係を論べた結果一番神經の過敏なのは野猪さんだ▲で一番無神經なのは鷗さん熊さんな▲鷹の神經が遲鈍で熊の神經が鋭だ抔は島渡珍だ▲藤岩內務參政官の將棋は小々へボは超越して居る方だが好きな事は人並以上▲同志倉本部などで一番始めて居ると地方から有志が尋ねて來る▲已なく將棋をやりつゝ面會して『其私さしてもですナア……』と『君其飛車は厄介だね、エ、ト其事實は、待つた金があるか……』と夢中▲有志は大に面喰つて引き下ると將棋の後で『給仕今訪問した人は誰だい』▲新任朝鮮駐劄軍司令官秋山中將が東京出發と云ふ時新喜樂で送別會が開かれた▲倉知鐵吉君頻にウヰスキーを呷つた結果眼元足下大分怪しくなつた▲迄は好かつたが便所の歸りに座敷を間違へ隣室に飛込み大に御詫を並べた▲而も其の座敷は安田善三郎君ので倉知君全く取り違へて仕舞て▲幾度も便所へ行つては此の座敷に歸つて來る▲主人の安田君も驚いて小首を傾けると云ふ始末▲本座敷では倉知君が見へないと大騷ぎの末ヤット拾ひ出して來た▲多少極りが惡いのでテレ隱しに更に益々、卿つてブラリと同家を出て▲知り合の中村歌右衛門の宅と思つて隣の待合の關政に這入り二階へ飛び上つて高鼾▲漸くの事自動車で送り歸されて見ると宅は大騷ぎ▲翌日は誰を捉へても失敗々々之れやあ秘密だよで忽ち大評判

木浦

▲八月木浦金融　久しく沈滯にありたる米穀界は月末市內地期米の急反撥ありて[illegible]う高値を唱ふるに至りたるも[illegible]海の折柄收引至て少く海藻類も相場[illegible]況は鈍沈の狀態を脱せず只下旬に近きてより殘暑の照込申分なく稻作を[illegible]人氣幾分か復し[illegible]中の最も閑散期にして金融界も[illegible]然緩漫裡に[illegible]

▲道路改修工事入札　忠北道安城川[illegible]入札は[illegible]

▲天安温泉里道路開通　天安温泉里間道路は大雨の爲め破損し交通不通[illegible]しが温泉里[illegible]

既報の[illegible]浦那面村面楓谷里李德亨妻張男姫（三）は客月十五日夜同里趙鍾契な仕舞ひ置きたる現金四十六圓を竊取[illegible]より男姫に虛僞の告訴をなすべく敎唆したる事露顯し男姫は誣告罪李成起訴さる（仁川）

京日案內

普通一回前金三十錢　番外一回前金六十錢　五回分前金一回分無料割引
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◎貸家 朝鮮式家屋瓦葺九間所在昌德宮附近　三十坪乃至八十坪價格安　外資宅地數ケ所　桂洞一四 林業社 204

◎外務員募集 ◎確實なる要保證人　大日本信託合資會社出張假事務所　南山町一丁目一番地大和屋委細面談 194

◎有給（男女）外務員招聘　永樂町二の七五京城十友合資會社內　扇德生命保險株式會社 181

◎貸家 京城鍾路目拔の場所 商店向き電話電燈水道付（姓名在社）203

◎血の道 ◎氣腹 ◎痛 ◎胃 名灸 根治　若草町若草湯前 堀內正文堂 94

◎馬山浦所在宅地四千坪並洋風建物安價にて賣りたし（姓名仁川支局）125

◎古本熱心高價買入 △御報參上 ◎是非御試買を乞ふ △本町四 ◎電話二七八一番 △書肆群書堂 161

▼義太夫稽古本 太字全部備揃 本町二 ◎電二五二七 ウツボヤ書店 165

番外

◎松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す ▲光州加藤自働車運輸部

店員入用 年齡十六七歲 市內に確實なる保證人を要す　京城本町一丁目（電三一二番）陶榮商店 196

店員入用 年齡二十五歲以上にして是迄重石に經驗ある者雇入たし但し確實なる保證人二名を要す（姓名在社）199

▲代診至急採用 希望者は履歷書携帶本人來談あれ　京城南米倉町 電話二九三四番 上野醫院 201

店員入用 年齡二十五歲以下にして得意廻りに經驗を有する者三名入用 月收步合勉强次第相當收入あり 市內に保證人を要す　京城吉野町 岩城醫商店食料品部 188

◎京城春川間行自働車貸金片道四圓 京城春川間毎日午前八時出發　◎南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 春京主務 金正淵 202

新式病人用輸送車 新著仕候御用命を乞ふ　京城總督府醫院前 電話一一五八〇番　總督府醫院御用 山口組 96

見てモテモテ イアエンカデンプン入りの 凉シイ布引、新式てんかふんデス　本町一 荒木藥房 108

恩給 年金 即時立替 月利 何年分でも御相談　京城若草町百六番地若草町停留場南入一丁ポスト前突當り 西村商會 150

毎月抽籤を見られる 勸業債券 月賦販賣　報國公債株式會社京城總代理店 代理店募集 京城若草町百六 151

恩給 年金 立替 長期短期無保險月利一步二厘五毛　京城南大門外（御成町）山口屋 168

ほねつぎ うちみくじき等 一切の治療御依頼に應ず　明治町 柔術道場 179

礦物定量分析　京城府太平通（朝鮮公論社左小路）電話一三四四番 坂元分析所 185

朝鮮語科 新學期 三ケ月修業　英語科 新學期 ABCより　南大門通（漢城銀行向ひ）京城青年會 190

簿記募集　通學生 校外生　開校廿五週年紀念　東京芝區田町十一　私立認可　日本簿記專修學校

多々益々賣れる　長編講談　第二十編　幡隨院長兵衛　最新刊　正價各三十錢 送料一冊六錢
木下藤吉郎　赤穗義士　岩見武勇傳　笹野名槍傳　伊達騷動　怪談牡丹燈籠　佐賀の夜櫻　天一坊　村井長庵　佐倉宗五郎　文殊九助　由井正雪　大久保彥左衛門　紀伊國屋文左衛門　錢屋五兵衛　荒木又右衛門　塙川伴五郎　羽柴筑前守　以上既刊以下續刊
東京本町　博文館

日韓書房　新版報吉
松本雋著 最新東蒙古大地圖 定價八十錢 送料六錢
朝鮮總督府 普通文官 見習雇員 試驗問題及解答 定價六十錢 送料六錢
岩崎直子著 安産のしるべ 定價九十五錢 送料十錢
千原伊之吉著 成金物語 定價一圓 送料十錢
竹中繁次郎著 轉地療法 山と海 定價七十錢 送料十錢
京城本町二丁目

◎眼鏡新荷著廣告
米國製 正金張三種 甲 三圓五十錢 乙 三圓　純ニツケル一種 丙 二圓
獨逸凸凹玉サック付 一圓五十錢 一圓二十錢
◎地方より御註文の節は直ちに代金引替にて御送附申上候 但し前金に限り送費無料
京城本町一丁目（郵便局前）中村時計店眼鏡部 電話二七番 振替口座京城三四六番

朝鮮總督府法定消毒藥　アイゼル液　無比の防臭作用と殺虫力を併有す　全國藥店にて販賣

登錄商標　太物類各種足袋問屋　染手拭木綿並に足袋原料　足袋並にカバー製造販賣　山印大阪足袋一手販賣　明治足袋會社特約販賣
大阪市東區唐物町堺筋角　柿定商店　電話（東）一四七番 振替口座大阪二三七五番

▲營業科目及相場表は御一報次第送呈仕候

……高はさして多からず他……る等ありて益々人氣を刺戟し遂に下……に入りては下格米十二圓五十錢で……ありても依然夏枯の騰調を持續し市……するに例年七八月の兩月は當地方年……なりし

□初秋郊外十景（七） 一しきり水の面に小さな波紋を造てほそい雨が音もなく降て居たが其れも止んでしまつた、うす雲の間から午後の陽が柔かにさしてあたりの景色を包んで居る、時々遠く街道を通る荷車の音と鈴の音とがあわれに聞えて來る、東大門に續く城壁の半ばこわれてるのも何んとなし淋しさを思はせる。――とみ

◎吃驚づくめの見物

十三道の講士連の朝鮮銀行訪問

千圓の窓掛――一晝夜かゝつて二百萬圓の紙幣燒き これでこそ治國平天下の政が執れると感心

文廟秋期釋奠に參列した十三道の講士連は九日の朝から朝鮮銀行、京城郵便局、永登浦皮革會社等を見學する事となり同日午前九時に鍾路朝鮮旅館内に集合し學務局の李書記及び經學院の朴司成其他の案内で先づ朝鮮銀行の見學より始め其の建物の結構壯麗なるに先づ一驚を喫し吾々は

□書史を閲讀して彼の秦の始皇帝が宏大なる阿房宮を知れど斯の如く美麗なる階段や天井壁、窓硝子、廊下、床、敷物等の在りし事を聞かずと儒者らしい事を云ひ貴賓室に這入つて其の正面に垂れて有る紫色の窓掛が千圓費つて居ると聞いて千金と云へば貴重といふ代名詞でムるに之れは亦小さな窓掛け一枚が其の千金の値が有るとは驚入りデスクが

□一脚三百圓 と聞いて斯んな高價な腰掛に尻を据ゐるのは天命謝するの僻なしと有難がり、それからどの硝子窓も非常に綺麗に掃除がされて居るのでよく此の樣に硝子が汚れなくて居ると不思議に思つて聞いて見ると綺麗で居るのも尤も大の男が四人掛り切りで一年中窓硝子ばかり拭いて居るのだと聞いて此れにも驚き更に紙幣を燒棄てる

□竈場を見る に至て非常に驚いて吾々は朱頓の富の偉大なる事は知つて居るがこれほど澤山の通貨の積上げられて居たとは想像も能きぬと云ひそれがどん／＼火の中に投げ込まれて燒けて終ふのを眺めて『アー惜いものだ』と一齊に歎聲を擧げ二百萬圓燒くには斯のやうにドン／＼燒いでも一晝夜かゝると聞いて愈々そんな大金を燒いて終ふのは

□勿体ないこと 口を丸くし、それから頑丈にして堅牢なる金庫を見て預金は此の中へ仕舞つて置くのだと聞きそれから銀行の貸借事業の説明をされて成程これでは金持ちも安心に金を預けて置けると感心し總督府金庫の性質を聞いてそれでは吾々人民の納める税金は總督が平常懐中へ入れて居ると思つたら

□此の金庫へ 入れて置いて政府の必要の時に取出して使用するのであるか成程これは公平な好い制度であるこれでこそ治國平天下の政事が取れると甚だく感動しそれより一行は階上の食堂で茶菓の饗應を受け十二時三十分發の列車で仁川に向つた

◎一大事變突發 妙案もあらば御教示を煩はし度く候

▽お立派な體格 ▽親父でつくり ▽お玉女將の道輸の程おそろしく

阿部無佛大人足下

過般少閑を得て去る四日ブラりと京城を立出で南浦に遊び、七日長驅して五龍背溫泉の客と相成候友人全北熊本農場主熊本利平君との二人連に候特別の用事無き悠々閑々の行樂とて到る處に

▽彌次喜多式 を發揮致居候

中に就て一つ大兄に告げざる可らざる一大事變突發致候熊本君の身に取りては那家事件以上の大問題にて其解決も對支交渉以上の難事たる可く苦心一方ならず候、と申すのみにては御了解も無かるべきが昨夜當溫泉に著し先づ上等の座敷に通されたと思召されよイデヤ旅塵を一洗せんと浴衣に換へる際お附の女中おしげ君マア旦那樣御體格の御立派な事と推賞措かずソコデ僕も昨年野田大塊翁此地に遊びし事ありしと聞けるこそ幸ひと顔面白半分、カム親父の野田に似て身體丈けはコンナニ肥ひるが、大男總身に智慧が廻り兼ね』で始終親父から怒られ通しよと座席の出任せな事せばあの東拓の野田樣の御令息で御座いますかとの質問也、アアソーヨと輕く答へ僕此の大男は僕の從兄だよと

▽二十一貫の 熊本君なも恥[illegible]

座に大塊翁の[illegible]候、[illegible]状元の座敷に[illegible]有名なる此家の女將お玉君飛んで來て、野田樣よく遊々御出で下さいました、昨年は京城に出ましてお父樣に大變お世話に成ました御親切に京城日報の阿部社長を始め各新聞記者の方々へも御紹介下さいました御蔭にもなりました喜久家の女將とは姉妹の樣に懇意にして居りますが矢張りお父樣（大塊翁の事）の御紹介ですよ貴郎にマアお父樣にお似遊ばして大變御立派な御體格ですねソシテ[illegible]の野田樣は貴郎のお兄樣ですね野田樣の御紹介で朝鮮の方には大變ひいきに預かつて居ります鮮銀の木村樣は御丈夫で御座いますか三井の高野樣も此程御越しとの事で電話を頂きましたが御用の御都合で途中から御引返しになりまして

▽殘念でした 此間は京城日報、朝鮮公論、大阪毎日等の記者團が御見えになりまして新聞記者では面白くないからとて[illegible]旦那におなりなすつて大騒ぎをして遊びましたよと江戸ッ子のお玉姉御江戸辯で立板に水宜しくペラ／＼と喋り立て流石の僕たて野田さんの子息とは眞紅な嘘で女中への戯談なりと打消す機會を失ひほと／＼閉口し昨夜は其儘に過し明けて今日でも可然時機に白状に及ばんと思ひ候ひしにお玉女將は今朝も早くよりしてお父樣そつくりだの（實は大塊翁よりは少し男振りが好いつもりなのに）お父樣は[illegible]な御氣性なのに貴郎はお若いのにお落着き[illegible]にて下にも置かぬ款待には[illegible]

▽今となつて [illegible]は一寸女中に擔いだ野田（シャレのつもり）とても申そうものなら家族のお互女將に如何なる目に遭はされんも計られず何れ歸城後大塊翁及び大兄等と協議の上[illegible]の外なかるべく在居候妙案もあらば御教示を煩はし度候 敬具

大正五年九月八日 五龍背溫泉にて 牧山耕藏

▲堤防缺潰す

慶南金海地方は四日午後二時より七日午前五時まで殆んど間斷なき豪雨にて邑内東方なる虎溪川の上流堤防七日午前二時前後に至り五箇所缺潰し一直線に邑内に向け濁流氾濫し東上洞、府院洞及び北内洞一部の家屋浸水し一時は大混雜を極めたるが七日午前九時頃より減水したり水害の爲め金海消防組は七日午前一時頃より全部出動し各所の警戒に努め尚ほ七日に至り各戸より一名宛の人役を出し人夫と共に緊急堤防の應急工事をなしつゝあり又鳳林里三十五戸朴守業方後方の畑地崩壞し家屋を倒潰し四名の壓死を出したり尚ほ其の他の水害調査中なるが金海水利組合區域内に於ける個所は何れも無事なりき

▲住民の避難

六日夜の豪雨にて山溪より流失する雨水は洛東江の流れを逆襲し三浪津附近は七日午前四時に至り家屋三尺の浸水を見尚ほ刻々增水せるを以て住民は家財道具を取纏め避難する者多し

◎御贈勳一千五百七十

閑院宮殿下露國御訪問の折

閑院大將宮殿下露國御訪問の機會に於て同國文武顯官に對し各勳章を贈らせらるゝ爲め過般來隨員會議に於て外務陸海軍各省とも交渉調査を遂げし結果大[illegible]せし勳章數は旭日章七百二十瑞寶章八百五十にて其内同國總理大臣宮内大臣には旭日桐花大綬章を侍從長には桐花大綬章と共に金盃を式部長官參謀總長陸海軍大臣には勳一等旭日大綬章を贈らせらるゝ由（東京特電）

◎東京の虎列拉 四十餘名に達す

東京府市の虎列拉患者は先月十七日の初發以來各所に蔓延し市内は今や赤坂區を除く各區に二名若くは三名の患者を出し總數四十餘名に達せるより當局に於ては防疫員防疫官吏四十餘名を募集し極力之が豫防撲滅に努めつゝあるも猶ほ蔓延するものゝ如し（東京特電）

◎大阪虎疫蔓延

▼遂に非常手段に出づ

大阪府市の虎疫は五日七百五十を算し數日中に千名を超ゆるに至るべしとて府の當局者は内務省衛生局野田技師課長山田防疫課長と協議の結果今後郡部の患者を診察したる主治醫は虎列拉或は疑似虎列拉と診察したる場合之迄の如く檢疫醫を派遣せず直に所轄署にて豫診虎列拉と見做し患者を避病院に送る事とし

▲三回檢便して 虎列拉菌を認めざる場合は直に退院せしむと從來の檢疫よりは非常に簡便となりたる譯にて自然患者の發見數も多くなり隨て中には幾多誤診患者を出す虞あるもこは患者に於て虎列拉にあらざりし場合は不幸中の幸と諦めるより外なし一方水上方面に於ては例の出港船舶を國費を以て檢疫する事となりたるが入港に際しては保菌者を見逃さゞるやう一々灌腸せしめて檢便するに定め數名の看護婦を判任官待遇にて雇ひ入れ水上方面に活動せり又七日

▲府下の工場中 五十名以上の寄宿職工を有する工場主約四十名を府廳に召集し一場の豫防訓示をなすと又虎疫の蔓延は貿易に及ぼす影

◎慶南豪雨被害

洛東江の增水

慶尚南道にては六日夜より七日未明に亙り近年稀なる豪雨あり各地の被害状況次の如し

▲鮮人四名溺死 連日の降雨にて七日洛東江は約八尺餘を增水し尚ほ益々增水の見込にて過般の洪水より僅かに二尺の減水なるが龜浦を距る南方半里毛羅にては鮮人四名溺死し金海行き巡航船は七日午前七時より不通となりたり

◎朝鮮人勅使の嚆矢

去る六日午後朝鮮總督府檢事正氏野德太郎氏葬儀執行の節勅使として黄海道長官趙羲聞氏を同邸に差遣され幣帛を下賜せられたるが鮮人出身の勅任官にして勅使の大任に當りたるは之を以て嚆矢とすと（東京特電）

◎二年前の犯人 東京で捕はる

仁川山手町二丁目居住納太人（支那在籍）エーッー（五二）方に雇はれ中なりし西井松（三二）は大正四年秋の頃エーッーが他へ旅行したる際留守居を頼まれ同時に金庫の合鍵を依託せられたるより金庫在中の金側懐中時計二個金製ピン、同頸飾り、金指環腕輪等（八百十五圓）のものを窃取し之を仁川の各質屋に入質し其後姿を晦ましゐたるものにて此程仁川の某質屋より右の贓品を發見したる事より足がつき同人の所爲なりしこと判明し東京芝公園内の某家に潜伏中なりしを仁川署の手配に依りて遂に檢擧されたり

◎廣島師範の火事

九日廣島高等師範學校に火災あり化學研究所一棟寄宿舎一棟都合二階建の大建築二棟燒失せり燒失坪數三百八十坪にして損害約四萬圓なり軍隊消防夫等防火に力めたる結果此れのみにて消止めたり（大阪特電）

◎海運界元老逝く

海運界の元老原田十次郎氏は十日逝去せり享年六十二歳未だ喪を發せず（大阪特電）

◎鄭家屯戰死者遺骨

鄭家屯に於て名譽の戰死を爲せる眞野軍曹以下十一名の遺骨は郵便行嚢として九日正午門司寄港の商船嘉義丸にて大連より神戸に送らるゝ由遺骨は神戸郵便局より更に各家族へ送る由遺骨は三個に分ち白布を覆ひて一等船客室に安置し香花を供へたり猶ほ福原少將中

◎平壤の招魂祭

平壤招魂祭は九月十五日午前十時より瑞氣山公園に於て神佛兩式を以て執行する由にて平壤府尹は七日平壤在住の重なる官民に參拜の案内状を發送せり

◎須磨丸異常なし

八日午前中仁川に入港したる汽船須磨丸は神戸地方を發し入港したるものなれば係官署にて時疫に就き取調べたるも異常なかりしより直ちに入港其々手續きの上午後出帆したり（仁川）

◎三汽船入港せず

九日入港すべき汽船銀山丸、澤州丸及び信濃丸の三隻は孰れも同夕刻迄入港せず十日拂曉入港すべしと（仁川）

◎談合控訴公判

大邱地方法院にて官吏の判決を受けたる第一類談合事件被告は服罪せず大邱覆審法院に控訴し又無罪となりし被告に對しては檢事より控訴し一件書類の取調べを了りしかば愈々九月十九日午前九時より第一、第二事件を合併して控訴公判を開くに決せり

◎始末に困る

住所氏名不詳年齢十六歳位の朝鮮人男の乞食は當に京城市中を徘徊して掏摸と搔つ拂ひを働き既に三回も本町警察署の手に捕へられ裁判所に送られ八月十日笞六十の處分を受けたるに同月二十六日又も櫻井町一丁目飲食店牧野かね方の店頭にて金壽司を盗み翌夜も同家を覗き居る所を家人に押へられ本町署に突き出されたるが同署も始末に困り居れり

◎純金鎖を拾ふ

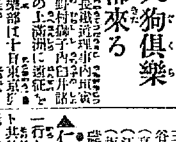
京城鼎洞李慶哉は八月三十一日當昌洞の路上にて懐中時計の純金鎖一個（九十圓）を拾得し鍾路警察署に屆出でたるが六日に至り右は當昌洞趙興俊の遺失と判明し同人は報勞金十二圓を李慶哉に贈與せりと

◎猩紅熱 平壤府南門町長谷人妻一重（二七）長男滋（五）兩人は疾て猩紅熱に感染中なりしが去る七日猩紅熱と判明したりと

◎臨濟宗妙心寺（長沙洞） 十日午前九時より無[illegible]の提唱あり

◎暴風雨警報（九月九日午後三時三十分發）

▲發文 風雨強かるべし ▲低氣壓位置 黄海北部 ▲低氣壓示度 七五五粍 ▲進行方向 北東 ▲[illegible]なし ▲警戒區域 平安南北道咸鏡南北道沿岸及び内陸



▲天狗倶樂部來る

[illegible]氏及び野村[illegible]諸氏と協議の上滿洲に遠征を試むることとなり天狗倶樂部は十日東京發十一日神戸より哈爾賓丸に搭乘十四日大連に乘り込む筈にて一行の顔觸れは大阪朝日記者橋戸信、大阪毎日記者西尾守一、武俠世界記者針重敬喜、同飛田忠順、同押川清、野球界記者小泉葵南、讀賣記者大村隆行兄弟、武俠記者倉田、朝記者弓舘、冒險世界記者阿武、世界記者赤岡及び吉田鈴木往瀬家小杉未醒氏等の大天狗小天狗にして野球庭球撲球角力何んでも御座れと大天狗振を發揮しつゝ約二週間の豫定を以て滿鐵沿線各地を殺到し歸途は道を朝鮮に取り京城にも立寄るべき旨某氏の許に通知ありたるが一行の來鮮は朝鮮に於ける運動界を母國に紹介する絶好の機會なるを以て京城の運動界にては一行入京の際盛んなる歡迎の意味にて競技會を催ふさんと寄り〳〵協議中なるが一行は孰れも斯界の古兵此好敵を迎へて奮戰偕鬪するの準備京城野球界庭球界にありや頗る疑問なりと京城運動界の現状を惜むもの少からず何れにしても一行入京と共に秋の運動界は稀なる壯觀を見るべし

▲滿鮮對抗戰

朝鮮鐵道局鐵道倶樂部と滿鐵庭球部との庭球戰は十月一日安東に於て擧行する事に決定したるが過回の戰は滿鐵に取りては雪辱戰なると鮮鐵に取りては庭球の覇權獲得の戰なるを以て兩軍は猛烈なる練習怠りなしと

▲竹本林之助

浪花館改築落成の初興行として乘込みたる大阪女義界の花形竹本林之助一座は九日花々しく町廻りを爲し同夜より開演せり、林之助は名人故[illegible]の門人にして永らく大阪の[illegible]席其他に出勤し[illegible]の聞えあり[illegible]が得意にて前途に望みを嘱されおる[illegible]は[illegible]、末虎等と共に京阪の各席に出勤し女義界の元老として名を知られし人に當地の師匠奈良梅とは稽古友達の間柄[illegible]

二日目（十日）の語り物次の如し

▲朝顔日記[illegible]（廣久）▲四ツ谷三段目（林廣）海の山兵衛住家（?）陣八ツ目（林玉）伊勢音頭油屋（はや）御所櫻三段目（久子）谷邦上（廣治）太功記十段目（林之助）紙車馬越

▲大正館の戰鬪 大正館にて上場中なる米國軍備擴張派の機關活劇は二萬五千の軍隊と八百の在郷軍人六千の臨時兵を使つた近來稀らしき大物にて空前の中戰國大艦隊が紐育に迫り大風高樓の粉碎さるゝ光景は觀客をして思はず手に汗を握らしむ毎夜滿員の好人氣なり

▲黄金館の連鎖劇 名金はいよいよ佳境に入り泰西活劇の快報、琵琶劇本の德等面白く佐倉義民傳の連鎖劇は男女優士大車輪にて開演中なるが當夜あたりより何れも舞臺に馴れ熟して乘り頗る好評なり

▲有樂館の活動 いよ／＼八日より活動寫眞を開演せるが辯士は當地に顔馴染の人氣者巴貴らを初め新進辯士數名にて熱心に口演し居るため毎夜好景氣

▲前田旭心歡迎會 筑前琵琶宗家前田旭心氏歡迎演奏大會は今十日午後六時より壽館に於て開催せらるゝ筈にて其の曲目及び奏曲者左の如し

▲富士山（合奏）（諸岡旭房、藤尾旭藤、水波旭嶺）▲川中島（石田旭翁）▲大高源吾（玉村旭玉）▲項羽上（水波旭嶺）▲森蘭丸（新派）（荒谷旭水）▲七本槍（五絃）（前田旭心）▲夜の梅（高木旭勾）▲橘中佐（中野旭甕）▲村上喜劍（江島旭房）▲護良親王（松岡旭愛）▲高田馬場（坂井旭水）▲彼の浦（五絃）（東原旭房）▲菊の露（同）（井上旭泉）▲本能寺（同）（前田旭心）

▲仁川の天勝 仁川歌舞伎座は松旭齋天勝一行を招き九日、十日の二日間得意のテンペスト其他チョコレイの他開演中なるが入場料は特等一圓二十錢、一等一圓、二等七十錢、三等四十錢、小兒半額なりと

腕卷時計 金側 第二十三號 二十五圓 ニッケル腕卷時計 [illegible]

上等製品は 風雅なる意匠 精巧巧緻なる 作りは洋の紳士淑女 共に愛用すべき ルビー！エメラルド！ 何れも上流貴婦人方の御要求を 滿して遺憾なき逸品取揃へ居候

京城支店 本町三丁目 村木時計舗 電話長四七一番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も精巧なる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御注文に應ず 京城日報社 寫眞製版部

健胃固腸丸 くだりはらの氣持よく止まる 食傷 寢冷 時候あたりから起る下痢と腹痛を治す 大阪 谷田春堂 到る處の藥店にあり 藥價 十五錢 三十錢 五十錢 一圓 二圓 五圓

ミナサンの頭に濁酒と云へば㊂を想起せられる近頃評判の清酒高麗菊も矢張り㊂ですの 釀造元 龍山驛前 電話三〇三九 三酒場

鐵砲は 横濱の金丸銃砲店に限る
（御望みの銃砲名例へば鐵砲とかピストルとか空氣銃とか其他夫々[illegible]）

故高山經豊葬儀の際は不拘雨中にも御會葬被下難有御禮申上候
大正五年九月十日
男 高山豊

特効新藥 かつけ
陸軍一等軍醫正 ドクトル都築甚之助氏發見 日、米、獨政府專賣特許
アンチベリベリン
▼用法は……内服と注射
▼目的は……豫防と治療
▼常用は……萬全の上策
▼注射は……衝心の救急
▼適應は……かつけ一切
定價 粉末 同 同 注射液 同 丸 エキス 同
說明書送呈郵券二錢
發賣元 東京市麻布區笄町 南信堂藥局
代理店 京城本町二丁目 木下不老堂
特効新藥 かつけ

自働車 修理、調節、分解組立 賣買、貸借紹介 部分品附屬品製作 京城古市町三十七番地 京城自働車工場 電話九六五番

新刊書御案內

書名	著者	定價
英文日本年鑑	武信由太郎	四、〇〇
八犬傳物語	大町桂月	九五
安價滋養食物の研究	伊藤、三上	六五
エドワード、グレーの外交	余伏譯	六〇
禪と武士道	横尾賢宗	一、〇〇
改正陸海軍出身案内	大堀寺	三八
戰線に立ちて	鶴ヘツケル	一、〇〇
故郷他郷	満川玄平	一、〇〇
漫畫と落語 のとぼとけ	久世勇三	九五
世間學	浪六	九五
元祿義俠録 上中下	塚原澁柿	九五
最近工業藥品製造法	喜多源逸	二、九〇
議會政黨及政府	上杉愼吉	三、三〇
刑事訴訟論	林賴三郎	一、五〇
會計と帳簿	森田熊太郎	二、〇〇
簡易音樂體型と樂器沿革	中山隆次	七五
現行保險法令集	伊藤秀三	八〇
各國參照工場法要義	川邊好一	六〇
綴り方教授の根柢	黑沼勇太郎	九〇
寫生を主としたる綴方新教授法の原理	駒村德	二、三〇
大英國の危機	英國男爵 コナンドイル	七五

京城本町 電話二八〇六 振替京城二五七三 大阪屋號書店

花柳病外科專門 ◎梅毒 ◎淋病 ◎泌尿生殖器病 ◎痔丸病 ◎肛門病 ◎皮膚病 ◎婦人病 ◎神經衰弱 毎日◎六〇六注射 ◎包皮其他手術 ◎診察無料 ◎入院隨時 京城南大門通（蓬萊町二丁目） 司生堂醫院

女鳩

渡邊默禪

(一〇〇) 寧ろ熊と闘へ

朝日嶽の第一日は一行にとつて先づ幸福の方だつた。前の夜半頃から凪いだ吹雪は翌朝の九時頃まで霽れ續けてゐたので、この間に源作の貯へて置いた玄米と食料とを洞穴から小舍に移しもしたし、又た小屋の側に炊事場と薪小屋とを新設して、もう手落のないやうに十分冬籠りの準備をした。

と、間もなく又た曇つて來て雪が降出した。風もあつた。午後になると昨日よりも烈しい荒模樣になつて比較的工事の粗末だつた第三の小屋などは何遍か屋根を吹き飛ばされた。で、朝のうちに來なければ霽れるまで來べき望のない糧食隊などは、何處にどうして居るのか其の所在を想像することさへ能きなかつた。

手馴れた獵銃を拭きながら、いざ今日こそはと勃々たる勇氣を抑へてゐた子爵はひたと失望した。是非なく爐の火に手をかざして、源作や大野を相手に面白くもなき話を繰返しつゝ一日を欠伸のうちに送らねばならなかつた苦痛は、第二日、第三日に續いた。かくして第四、第五――吹雪は殆んど六日の長きに亙つたのである。

熊でなくとも切めては猿鹿、青猪なりと擊ちたいとは、無聊に悶へ切つた子爵を始め、一同の願ふところであつた。で、折々銃を手にして外へ出て見るけれども、この大荒には獸さへ怯れたものか兎一疋目にとまらぬのである。いや獲物をあさるどころではない、躊躇してゐれば谷間に吹落されるので、誰でも半町とゆかぬうちに命から〴〵退却して來る始末。

源作のお蔭でつないだ二十餘人の命の緒も、最う危く切れかゝるのである。少量の米や味噌、副食物、それが何でいつまでも支へられよう。漸々水分を多くして、仕舞には殆んど重湯のやうなものに拵へ、椀數も嚴しく制限するくらゐにして、出來得る限り儉約したのであるが、それさへ第七日目には品切れになる。

この危機に際して取るべき策は、獵を中止して下山するか。もしくは一部の人夫だけを大井澤に差向けて生駒の率ゐてゐた十餘人の成行を探らしめ、新たに糧食を搬んで來させるか。その二つであつた。併し下山をするには命懸である。決死の覺悟でなければ、この大吹雪を突破することは能きぬ。

「吹雪と心中をするくらゐならば、寧ろ熊の巢窟へ突かけて行つて、熊に咬殺されるか熊を射殺すか、命を的の賭博をやつた方がいゝぢやないか一頭を打捕つても一日や二日は樂に二十餘人の饑を凌いでゆける。三頭なら一週間は大丈夫だ。そのうちには天候も快復だらう」

〳〵と叫んだ。

大野は恁う言出した。先づ子爵が贊成した。源作も手を拍つて左樣だ

議は忽ち決した。七日目の朝一同結束して起つた。二十餘人を狩出さ射手と二手に分けて、狩出しは源作が指揮し、射手は子爵が命令することになつた。大野と鳩子は射手のうちに加はつた。かくして一隊の人長蛇の如く列を造り、吹雪を衝いて出屋川の谷間に降つた。向ふところは前面約八百米突の距離に峙つた花崗岩の斷層である。

今、熊狩の方法として古來吾邦に行はれてゐた樣式の二三を記して見やう。

内科 小兒科 外科 産婦人科 各科分擔 診察午前九時より午後九時まで
今村醫院 京城大和町一丁目 總監部通(大倉組前) 電話一八三一

□大田湖南吟社句集(二)

- 葉落ちて寥り眼に鵜の家や柿の秋 待宵
- 見てし怪話に夜長興更く 同
- 干し柿頃數減り日立つ吊し柿 淡水
- 離れ家に咳つゝく夜長哉 同
- 熟し柿を鶏の啄く墓標哉 松年
- 雨止まず風凪ぬ夜長胃の痛む 同
- 秋の夜や神棚の灯の丁子太る 同
- 野川にすゝ乞食の椀や蝗飛ぶ 青條
- 隱栖の人や絲瓜の風姿哉 同
- 柿ゝ鳥の名知らず日は西へ 千里
- 甘かれと願ひし柿の澁かりき 同
- 虫や月と與添ふ若待つ夜長 同
- 釘の婆子油きらして夜の長し 中京
- 牧場の馬熊に倒され夜は長し 同
- 雨晴れて蝗飛ぶ遠山照れり 西水
- 畦來るに冷し足指や蝗とぶ 同
- 柿の核占あてゝ引出す俳哉 風骨
- 蓬門の十哲ならぬ柿十顆 同
- 猫板や廓の夜長の招き猫 同

内科 小兒科 婦人科 京城醫院 村上憲佑 本町二丁目浦尾旅舘前 電話七四二番

- 猿も眞似て畚に籾選る夜長哉 同
- 嫁送りの長提灯や蝗飛ぶ 同
- 野博奕のころがる賽や蝗飛ぶ 同
- 草の風絲瓜の尻をこそばせり 同
- 風に乾く濯ぎ衣や絲瓜棚 同

新刊紹介

▲日本の關門(九月號) 解剖刀下の寺内新元帥、戰後の關稅政策、勃興せる關門の新機運、關心は人類の本能なり等の論說、公娼と私娼との是非、夏の紡績女工生活の裏と表等の社會記事、家庭と婦人欄等の外附錄には關門重要物產輸移出統計表、五ヶ所定期米高低表等あり(十五錢下關市大字南部町一四七關門社)

▲實業帝國(九月號) 同情と感謝、旺盛なる化學教育、株式界に入らんとする青年の爲めに、全國實業學校評判記、青年出でゝ天下を取れ等快心の文字(十一錢東京市日本橋區本町一の一四共社)

▲教育の實際(九月號) 視學制度の改善を實行すべし、小學校に於ける智育德育の改善、獨逸人の日本教育批評、現代教育の思潮と手工教育、距離の感念を與ふる最良法、兒童既有概念の吟味、教科宗面と修身教授、交戰國の教育的熱過すべからざる好文字(二十五錢東京市日本橋區本石町三共社)

▲公私經濟(九月號) バイカイ無効の新判決を評す、船腹調節に關する各方面の意見、諸株の全盛時代來る、金儲けの話、九月相場必勝法、廢執は根本的調査を要す等最近經濟界の情勢を誌せり(十五錢東京市麴町區内幸町一の五共社)

▲日本印刷界(八月號) 引き續きショーサンドーの照明に就て、製版その日その日、現代廣告雜觀、サンドーバック資料等を掲載せる外印刷物研究倶樂部、看板改良會、電燈廣告の世の中、近頃流行の美人畫形態を之れ商工資務家の好參考資料(二十七錢大阪市東區京本町二共社)

▲小生は明治四十年の時も四十二年の時も實際京城の虎疫撲滅の任に當つたものであるが彼の當時殊に四十年には嚴重な檢病的戶口調査が豫防上非常に效力を奏した事は事實である今度も速に檢病的戶口調査を始めるが好い病人發生の時には申出でよなんて貼り出しをしたつて云つて來る者はない其れとも縣費にでもなれば好いて防疫係に進言す(苦疫生)

▲京城の家賃が高い高いと云ふ人があるが之は需要供給の經濟的原則によりて多少高いものも無きにしもあらずだが併合當時などより著しく低落し居るに非ずや今後と雖も又然り現在より安く貸せるとの確信ある人は請ふ他人の家を借らずに自分で建て大に安く貸し給へ(三行一致生)

▲醫藥同盟會に大に賛成なり是非共京城の物價や屋賃の一定標準を商業會議所にお願ひ申ます(町内總代)

▲近來京城の物價其他湯錢理髮料等の商價論が大分ある樣なが何と云つても朝鮮で一番高いものは醫師だ元來が仁術だから最少しお安く願ひたい(胃病患者)

▲一時肖引が來るとか云ふが來るとか傳へられた京城の警察界は其後何の音沙汰もない處は心細いものだ(大通公子)

▲京城は不潔な所と聞いて來たが市街の清潔なのには驚いたが電車の不潔なのには全く吃驚した吊革など手垢でずるずるして居り車內は鮮人の唾だの紙屑ばかりまけに今頃時代遅れな臨間制などを採用して居る(東京者)

▲旭町一丁目の白水は每晩午前二時頃迄も三時頃迄も騒ぎまはつて居る近所の迷惑は夥しいものだ其筋のお取締を望む(近所の總代)

▲近頃風呂錢が高いの散髮錢が高いのと投書が澤山あるが何にが高いと云つても京城の電氣程高いものは世界一でしよう其上會社はお役所同樣頭の高い爰裝嫌度が多い(都市研究家)

▲南大門通りは昨年の共進會前から一度も完全に通行の出來た時がない此先未何時頃出來上るのか判らぬとあつては市民の交通を妨げることは非常なものだ(公民生)

▲京城に新小學校を建築するに就て贊否交々だとの記事が出て居ましたが彼是れ理屈ばかり云つてる間に結氷期が來るのは知らないのか來年の新學期が來てマゴツかぬやうに確り賴みます(父兄の一人)

商況

大阪株式電報 大阪電燈 五一、四〇 和歌山紡 合同紡績 一〇一、五〇 [illegible] 二〇九、〇〇

大阪株式 三一六、二〇

大阪三品 △後場 當限寄付十四圓五十四錢△中限寄付十四圓八十四錢△先限寄付十五圓ノ二錢

大阪期米(九日)

	高値	安値	止め
	一三、七六	一三、七五	
	一四、二六	一四、二一	一四、二一
	一四、六八	一四、六二	一四、六三

仁川米豆取引所

▲依然强硬 はれアリく二錢と押したるも押目は又買物[illegible]く無碍にも下押さず四錢と返して三錢と保合裡に依然底堅き成行を示して散會 天候は又復降雨となりたるより[illegible]

▲後場の手振 中日を經へて市場は立會[illegible]に盛況を呈した[illegible]一面二千餘石の賣方[illegible]に對し買方[illegible]

▲①の大商內 [illegible]き能く買付たる玉數六千餘石に上りたりその事[illegible]一面四千餘石の買ありたるも市場の注目を惹い[illegible]

▲三筋見逆る りとの事一面小千石の賣ありたり[illegible]の買として見るべき者あり[illegible]

月やく 妙藥知らす 山田志づゑ なきに御困りの方は郵券三錢封入左記に御照會あれ 京城黃金町三丁目

わきが治癒良劑
■わきがは良緣出世交際を妨げ人に不快を感ぜしむ即刻治療あれ
■消腋散は幾多經驗の良劑故慢性のわきがも治癒せしむ請ふ試み給へ
藥價 輕症用八拾錢 重症用一圓五錢 慢性用特製二圓半 送料各四錢郵券不苦
本家…名古屋廣小路通…小林盛大堂

内科 小兒科 花柳病科 眼科 山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八〇番
呼吸器病專門 胃腸病 山田萬作 (入院隨時) 尾形周太郎

著しく胃を爽快にする 强胃消化錠 マーゲン 島田藥學博士鑑査
大阪上本町五丁目田畑保榮堂 特約店 京城南大門通二 新井藥房

五龍背温泉 新義州より汽車で卅分

最新最良の模範的家庭常備藥
▲恐るべきコレラ赤痢の流行季、家庭藥の御用意は刻下の急務たり
▲吾が家庭藥は、獨乙ベルリン醫科大學教授クラウス博士及び吾が國帝國醫科大學教授醫學博士佐藤三吉先生を始め、東西醫藥學大家三十六大博士の學說を根據とし、東京、京都、九州の三醫科大學及び各府縣立病院の處方製劑錄は勿論、現時世界に存在せる有らゆる家庭藥の處方を集め愼重細密に參考し、學理的研究と、嚴密なる臨牀的實驗とを續け、貴重の犧牲を拂ふ多くの研鑽を經て、完成したるもので從來の無效無益なる一般賣藥とは全く其根底に於て類を異にし、普通民間に於て一般素人に法律上絕對に賣入する事の出來ない十數種の劇藥を安全なる程度の範圍に於て配劑し、法に鑑み規に照し民間治療藥として最も安全有效に製出せる、最新最良の理想的家庭常備藥である。
▲下痢の烈しい時、便通の無い時、胸の惡い時、腹痛の起つた時、腹中に蟲の生じた時、寒冒を引いた時、眩暈のする時、熱病に罹つた時、眼病に罹つた時、頭や手足腰などの痛み出した時、火傷をした時、怪我をした時、傳染病の流行時などに、完全なる家庭藥の有ると無いとは、實に一家安危の岐るゝ處です。
▲疾病の治療は初期に限るので、初期の治療を怠るが爲に、輕症なる氣管枝加答兒の程度に於て治癒し得る感冒をも、肺炎にまで進ませたり、或は又單純なる胃腸加答兒を打ち捨て置いて恐るべきコレラ赤痢に感染し腸窒扶斯へ罹る例は往々あります。初期の手當の一と藥匙は末期の治療の百匙にも勝るのです。
されば作用の確實なる効力の一定不變なる、最も信賴し得る吾が家庭藥を常に備へ置かれ、急に應じ得る樣御用意の程を切に御勸め申します
藥價 內服藥五種、外用藥三種、都合八種一組 壹圓七拾錢の正價を以て諸彥の御要請に應じます 商詳細は本月六日の京城日報夕刊を御一覧下さい。
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會家庭藥部 電話二五六七番・振替京城四六七番

※澤の鶴、日光、登印、米壽
特約店
京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番
龍山漢江通 佐藤牧支店 電話四二九番

淋病新藥 ツヨール
帝大醫學藥學博士多數實驗の結果理想的治淋劑と確定せる
◉到處藥舖に販賣 發賣元 東京市日本橋區梗正町九番地 ツヨール商會 關西代理店 大阪道修町 田邊五兵衛
▲本品は殺菌力强大にして絕對に胃腸を害せず、膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渴等其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す
三十粒 五十五錢 五十粒 八十五錢 百粒 一圓五十錢 廿五瓦 八十錢
▲說明書無料贈呈す

營業目録
罐詰 乾物 海產物 雜穀 洗濯石鹼 / 漆器 家具 文具、紙 絹、農具 レヨベル 金物 / 陶磁器 簾 屏風 芦 花莚 / 荒物 履物 澤庵、茶 昆布 鰹節 酒、石油 / 乳母車 雨傘 東京簞笥 碁盤 蠅取紙
仁川新町 津田兒弟屋本店 電話七六二番 振替口座京城三八九番
仁川宮町 津田兒弟屋支店
京城本町 津田兒弟屋支店

一大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎謹製 各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番 持約店 京城南大門通二丁目 新井藥房

大邱浦項間自動車發着時間
上り(一番 二番): 浦項發 安康同 慶州同 阿火同 永川同 河陽同 大邱着 [illegible]
下り(一番 二番): 大邱發 河陽同 永川同 阿火同 慶州同 安康同 浦項着 [illegible]
大邱出張所 電話一一七番 / 大塚農場自動車部 浦項 電話七番

金泉醴泉間自動車發着時間
上り(一番 二番) [illegible]
下り(一番 二番): 金泉發 尙州着 咸昌發 龍宮發 醴泉着 [illegible]
▲小荷物取扱仕り候 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、寺釀、博多行 天與丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港通立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令船 第二共同丸 九月八日後四時入 九月十日前九時出
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にては市島行定期船接續荷客共直航船と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部 / 元山代理店 春日町(電話二四四七番) 山口回漕部 / 京城取次店 南大門(電話二六八・二〇一七) 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路遠洋航路を除く[illegible]の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶大阪行 須磨丸 九月廿一日 / ×安東丸 九月十八日 / 大智丸 九月廿四日 後五時出
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 ×信濃川丸 九月十四日 / ×信濃川丸 十月二日 後二時出
○群山、釜山、橫濱行 ×臨州丸 九月十三日 / △湖州丸 九月廿六日 後二時出
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 ×天智丸 九月十二日 後二時出
○鎭南浦、大連行 ×信濃川丸 九月廿七日 / ×信濃川丸 九月 日 後二時出
○大連直行 △福州丸 九月二十日 / △湖州丸 十月三日 正午出帆
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 ×潭州丸 九月十日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆) ▲印ハ城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 安平丸 九月十六日 / ▲宮島丸 九月廿二日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 九月廿四日 後四時出 / 基隆丸 九月十三日 前六時出
御注意 ●朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 [illegible]
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番・二五〇番 內國通運會社支店 電話七八番
中西回漕店各港行船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○咸鏡丸 門司より釜山各港寄港雄基間航路 九月 日 / 九月十三日 / 九月十三日 / 九月廿三日 釜山發
○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 元山より各港經由雄基行 九月十 日 / 九月 日 / 九月十四日 元山發
○忠淸丸 ○平壤丸 城津淸津浦鹽航路 九月十五日 / 九月 日 元山發
○永興丸 北久味、五里浦行 每月廿八回 元山發
○盈德丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港盈德島行 九月 日 釜山發
○江陵丸 ○寶陽丸 長生浦方魚津寄港 每日 釜山 浦項發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 九月十二日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 各港經由麗水行 ○巨濟丸 ○慶寶丸 (三日目一回水浦) 每日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 三日目每ニ 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 九月十三日 木浦發
○慶興丸 南鮮島海列島行(月三回) 九月十一日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行(東廻) 九月 日 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由德洞又は白翎島行 九月十二日 仁川發
○江原丸 青島、大連、芝罘行 九月十五日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 各港經由木浦行 九月十 日 / 九月 日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 每日午前 仁川發
本社 電話長一九五二番 鐵道會社及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相成度候 京城市大門通 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 君が代丸 九月 日 / 大有丸 九月十八日 / 神代丸 九月十四日 / 秀吉丸 九月十一日 後四時出帆
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 相模丸 九月十九日 正午出帆 / 高砂丸 九月十七日 正午出帆 / 三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部